

令和4年度 健保組合医療費の動向に関する調査

令和6年2月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

【調査の概要】

本調査は、社会保険診療報酬支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」と健保組合提供のデータをもとに、令和4年度の健保組合医療費の動向を取りまとめたものです。なお、第Ⅰ部「令和4年度 健保組合医療費の概況」（1,383組合）と第Ⅱ部「令和4年度 疾病別医科医療費（調剤を含む）の動向」（1,310組合）では、集計組合数と診療報酬明細書（レセプト）データが異なる点にご留意下さい。

【調査結果のポイント】

（第Ⅰ部）令和4年度 健保組合医療費の概況（1,383組合）

- 令和4年度 健保組合医療費の総額は5兆1,261億円で、対前年度比6.5%、3,129億円の増加となった。
- 診療区分別に伸び率をみると、訪問看護が13.6%と大きく増加、次いで、医科入院外11.9%、調剤6.3%、歯科計1.8%—となっている。また、医科入院は▲0.3%の減少となった。
- なお、加入者1人当たり医療費は、医科入院：4万1,938円、入院外：8万677円、歯科：2万1,610円、調剤：3万6,059円、⑤訪問看護医療費：834円。

（第Ⅱ部）令和4年度 疾病別医科医療費（調剤を含む）の動向（1,310組合）

- 疾病19分類別医科医療費の構成割合をみると、①新生物：11.7%、②呼吸器系疾患：10.8%、③内分泌・栄養・代謝疾患：9.2%、④循環器系疾患：8.9%、⑤新型コロナ関連等：7.6%—となっており、上位5疾患で全体の48.3%を占める。
- 加入者1人当たり医療費は、新生物：1万6,970円、呼吸器系疾患：1万5,692円、内分泌・栄養・代謝疾患：1万3,393円。また、加入者1人当たり医療費の伸び率をみると、新型コロナ関連等が110.9%と大きく増加、次いで、腎尿路生殖器系疾患：22.8%、呼吸器系疾患：15.3%、神経系疾患：7.8%—となっている。
- 推計新規入院件数（1,000人当たりレセプト件数）は、新型コロナ関連等が16.8件と最も多く、次いで、消化器系疾患：16.3件、新生物：10.9件、内分泌・栄養・代謝疾患及び循環器系疾患：8.5件。
- 推計平均在院日数は、精神・行動障害：69.4日が最も長く、次いで、神経系疾患：29.6日、皮膚・皮下組織疾患：25.6日、循環器系疾患：21.3日。
- 推計1入院当たり医療費は、周産期発生病態が65万5,668円と最も高く、次いで、循環器系疾患：63万5,198円、精神・行動障害：60万8,615円、新生物：60万7,939円。

本調査の集計対象とする組合数及び医療費等に関する留意点

1. 集計組合数及びレセプトデータの違いについて

第Ⅰ部「令和4年度 健保組合医療費の概況」と第Ⅱ部「令和4年度 医療費の動向：健保連調査」では、集計組合数と診療報酬明細書（レセプト）データが異なる。

(1) 第Ⅰ部「令和4年度 健保組合医療費の概況」における組合数と医療費

社会保険診療報酬支払基金「診療報酬等請求内訳書等データ」をもとに、健保組合全件分（1,383 組合）を集計したものである。電算処理レセプト（電子レセプト）のほか、紙媒体レセプトを含め、全レセプトを対象とした再審査分等調整後の確定ベースの数値である。医療費総額には、医科（入院・入院外）、歯科（入院・入院外）及び調剤費のほか、入院時食事・生活医療費¹及び訪問看護医療費²の費用額が含まれている。

令和4年度 診療報酬等請求内訳書データの概要：1,383 組合

	レセプト件数 (件)	医療費総額 (円)
計	346,580,583	5,126,089,492,034
医科	180,230,624	3,470,307,766,345
歯科	50,929,926	611,620,427,554
調剤	115,086,183	1,020,548,504,950
訪問看護	333,850	23,612,793,185

加入者数³（令和4年10月末現在）

1,384 組合	加入者数 (人)
計	28,302,519
本人	16,399,912
家族	11,541,392
高齢者（70-74 歳）	361,215

注）本人・家族は70歳未満の加入者数である。

¹ 入院時食事・生活医療費とは、入院時食事療養費、食事療養標準負担額、入院時生活療養費及び生活療養標準負担額の合計額である。

² 訪問看護医療費（訪問看護）とは、訪問看護療養費及び基本利用料の合計額である。

³ 加入者数及び加入者1人当たり医療費の算出に用いる加入者数は、各年度10月末日現在の「年齢階級別加入者数調査」（健保連調査）による加入者数である。

(2) 第Ⅱ部「令和4年度 疾病別医科医療費（調剤を含む）の動向」における医療費調査対象 1,310 組合における医科（調剤を含む）の電算処理レセプトのデータを集計したものである。歯科医療費のほか、紙レセプト、入院時食事・生活医療費及び訪問看護医療費は含まれていない。また、対前年度比伸び率は 1,310 組合のうち、令和4年度と3年度の両年度にわたりデータ提供のあった同一の 1,290 組合の数値をもとに算出している。

① 令和4年度医療費：1,310 組合

	レセプト件数 (件)	医療費総額 (円)
計	327,320,308	4,674,516,019,880
医科	170,207,229	3,137,256,111,560
調剤	109,495,111	968,459,129,300
歯科	47,617,968	568,800,779,020

加入者数

1,310 組合	加入者数 (人)
計	27,096,042
本人	15,961,791
家族	11,134,322

② 対前年度比伸び率：1,290 組合

	レセプト件数 (件)		医療費総額 (円)	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
計	324,288,876	302,455,558	4,631,158,343,890	4,288,751,074,060
医科	168,627,674	156,880,604	3,108,053,486,250	2,834,933,512,880
調剤	108,491,275	99,328,944	959,591,179,510	901,910,754,540
歯科	47,169,927	46,246,010	563,513,678,130	551,906,806,640

加入者数

1,290 組合	加入者数 (人)	
	令和4年度	令和3年度
計	26,843,021	27,047,395
本人	15,818,109	15,749,413
家族	11,024,983	11,298,096

2. 本調査第Ⅱ部で取り扱う疾病別医療費及びレセプト件数について

(1) 疾病別医療費：

疾病別医療費は、1枚の診療報酬明細書（レセプト）に記載された1ないし複数の傷病名に対して、各傷病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、医療費を疾病ごとに振り分けた結果に基づき算出する手法を用いている。

公的 disease 統計においてはレセプトに記載された1ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づき1レセプト1傷病名による医療費で集計しているが、これとは異なる点に留意されたい。また、入院外の医療費については、上記同様の手法により医科レセプトと紐づく調剤レセプトから傷病名ごとに調剤医療費を分配し合算しているため、調剤医療費を含んだ金額となっている。

(2) 疾病別レセプト件数：

疾病別レセプト件数は、1枚のレセプトに記載された1ないし複数の傷病名ごとに計数している。たとえば、レセプト上に3つの傷病名—A病名、B病名、C病名—が記載されている場合、レセプト件数は、A病名：1件、B病名：1件、C病名：1件として計数し、疾病・疾病分類ごとに集計している。このため、上記1)の医療費の取り扱いと同様、レセプトに複数の傷病名が記載された場合の取り扱いが公的 disease 統計とは異なる点に留意されたい。

3. 新型コロナウイルス（COVID-19）の疾病19分類区分と分類名について

「新型コロナウイルス（COVID-19）」は、疾病19分類（社会保険表章用疾病分類表）では「XXⅡ：特殊目的用コード（U00-99）」に分類されているが、本調査では便宜上、名称を「新型コロナ関連等」と置き換えている。

なお、「XXⅡ：特殊目的用コード」には、新型コロナウイルスのほかに、「重症急性呼吸器症候群（SARS）」や「ジカウイルス病」等が含まれるが、令和元年度まで同分類には医療費がほぼ計上されておらず、新型コロナウイルス感染拡大が発生した2年度以降に医療費が計上されたことを踏まえ、同分類に計上された医療費を新型コロナウイルスに係る医療費として取り扱っている。

4. 本調査における用語の定義

① 加入者1人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除したもの。

② 受診率 (1,000 人当たりレセプト件数)

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数 (各月末の加入者数の和を 12 で除したもの) で除し 1,000 倍したもの。

③ レセプト 1 件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したもの。

④ 1 日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したもの。

⑤ 加入者 1 人当たり医療費の 3 要素分解

加入者 1 人当たり医療費は、①「受診率」、②「1 件当たり日数」、③「1 日当たり医療費」一の積に分解することができる。

<加入者 1 人当たり医療費と医療費 3 要素分解の算定式>

【加入者 1 人当たり医療費】

$$= \text{【医療費】} \div \text{【加入者数】}$$

$$= \text{①「受診率」} (\text{【レセプト件数】} \div \text{【加入者数】})$$

$$\times \text{②「1 件当たり日数」} (\text{【日数】} \div \text{【レセプト件数】})$$

$$\times \text{③「1 日当たり医療費」} (\text{【医療費】} \div \text{【日数】})$$

*) 調剤レセプトは診療実日数ではなく、処方せん発行回数を使用しているため、「1 件当たり日数」は「1 件当たり回数」、「1 日当たり医療費」は「1 回当たり医療費」となる。

⑥ 推計新規入院件数 (1,000 人当たり件数)

当該年度 4 月～3 月までの各月に新たに入院した患者数の合計 (推計値) である。

⑦ 推計平均在院日数

退院日を含む平均在院日数の推計値である。

⑧ 推計 1 入院当たり医療費

入院患者 1 人にかかる、入院してから退院するまでの医療費の推計値である。

*) 上記⑥～⑧の入院医療費の 3 要素分解の詳細については、巻末 p.39 を参照のこと。

第1部：令和4年度 健保組合医療費の概況（1,383組合）

1. 令和4年度 医療費の概況

- 4年度の医療費総額は5兆2,161億円で、対前年度比6.5%の3,129億円の増加。
- 診療区分別の伸び率をみると、訪問看護が13.6%と大きく増加、次いで、医科入院外11.9%、調剤6.3%、歯科計1.8%—となっている。また、医科入院は▲0.3%の減少となった。
- 加入者1人当たり医療費は、医科入院：4万1,938円（対前年度比0.4%）、医科入院外：8万677円（同12.7%）、歯科計：2万1,610円（同2.4%）、調剤：3万6,059円（同7.0%）、⑤訪問看護：834円（同14.3%）—となっている。
- 加入者1人当たり医療費の伸び率の影響度をみると、医科入院では1日当たり医療費（+3.6%）がプラスであるが、受診率（▲1.6%）、1件当たり日数（▲1.6%）がマイナスに寄与した。
- 医科入院外では、受診率（+7.9%）、1日当たり医療費（+5.5%）が大きくプラスに寄与し、調剤では、1日当たり医療費（▲2.2%）がマイナスであるが、受診率（+10.1%）が大きくプラスに寄与した。

総額及び診療区分別医療費

診療区分	令和4年度	令和3年度	伸び率(%)
総額	5兆2,161億円	4兆8,132億円	6.5
医科計	3兆4,703億円	3兆2,309億円	7.4
入院	1兆1,869億円	1兆1,904億円	-0.3
入院外	2兆2,834億円	2兆0,405億円	11.9
歯科計	6,116億円	6,011億円	1.8
調剤	1兆0,205億円	9,604億円	6.3
訪問看護	236億円	208億円	13.6

加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

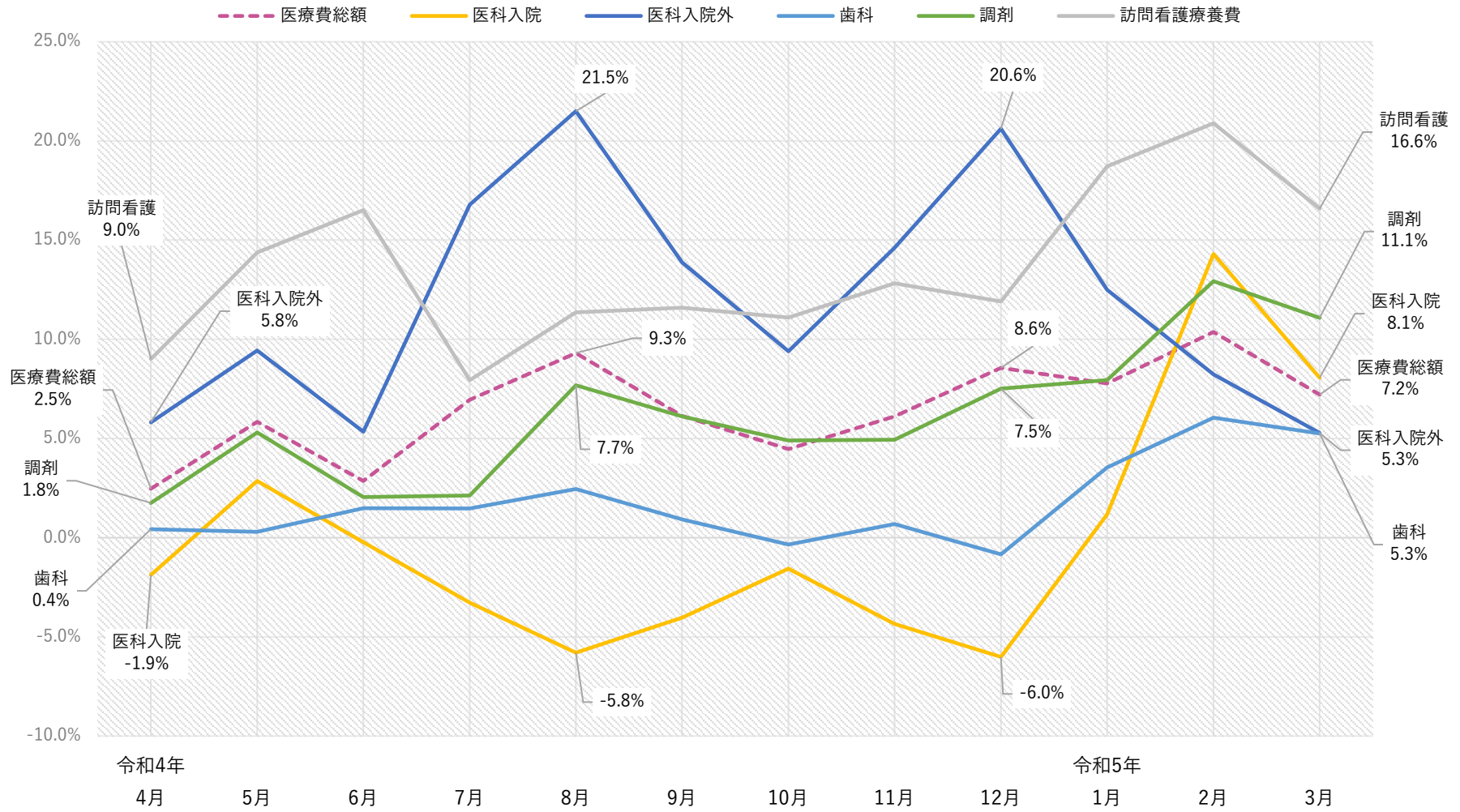
診療区分	1人当たり医療費(円)	受診率(件/千人)	1件当たり日数(日)	1日当たり医療費(円)
医科入院	41,938	74.1	8.2	68,817
医科入院外	80,677	6,293.9	1.4	9,430
歯科計	21,610	1,799.5	1.5	8,060
調剤	36,059	4,066.3	1.2	7,634
訪問看護	834	11.8	5.9	12

対前年度比伸び率

診療区分	1人当たり医療費	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費
医科入院	0.4%	-1.6%	-1.6%	3.6%
医科入院外	12.7%	7.9%	-0.7%	5.5%
歯科計	2.4%	2.4%	-2.6%	3.1%
調剤	7.0%	10.1%	-0.9%	-2.2%
訪問看護	14.3%	14.7%	-1.0%	0.8%

【参考】

令和4年度（4年4月～5年3月診療分）
医療費総額及び診療区分別医療費 対前年度比伸び率の月別推移



2. 本人・家族別にみた加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

(1) 本人

- 診療区別に1人当たり医療費をみると、①医科入院：3万8,926円（対前年度比▲1.1%）、②医科入院外：7万7,304円（同11.0%）、③歯科計：2万2,206円（同2.3%）④調剤：3万5,325円（同5.9%）となっている。
- 医療費3要素の伸び率の影響度をみると、医科入院では、1日当たり医療費（+3.2%）がプラスであるが、受診率（▲2.6%）、1件当たり日数（▲1.5%）がマイナスに寄与した。
- また、医科入院外では、受診率（+6.9%）、1日当たり医療費（+4.6%）がプラスに大きく寄与し、調剤では、1日当たり医療費（▲2.0%）がマイナスであるが、受診率（+8.7%）がプラスに大きく寄与した。

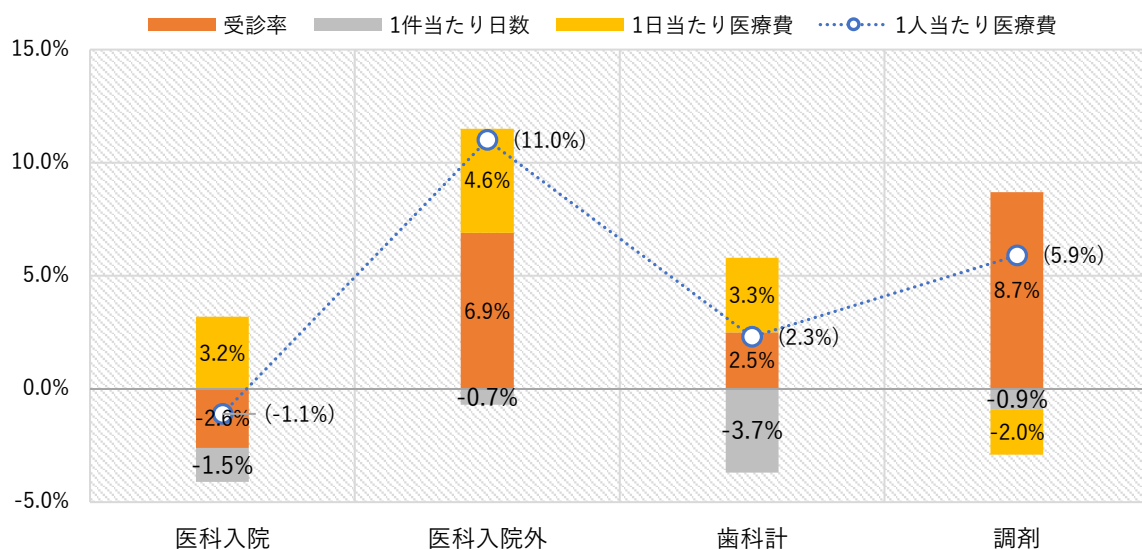
1人当たり医療費及び医療費3要素

診療区分	1人当たり医療費（円）	受診率（件/千人）	1件当たり日数（日）	1日当たり医療費（円）
医科入院	38,926	67.5	7.7	74,729
医科入院外	77,304	5,744.4	1.3	10,061
歯科計	22,206	1,743.7	1.6	8,141
調剤	35,325	3,648.9	1.1	8,555

対前年度伸び率

診療区分	1人当たり医療費	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費
医科入院	-1.1%	-2.6%	-1.5%	3.2%
医科入院外	11.0%	6.9%	-0.7%	4.6%
歯科計	2.3%	2.5%	-3.7%	3.3%
調剤	5.9%	8.7%	-0.9%	-2.0%

1人当たり医療費伸び率の影響度



(2) 家族

- 診療区別に1人当たり医療費をみると、①医科入院：4万1,687円（対前年度比2.2%）、②医科入院外：8万1,597円（同16.1%）、③歯科計：2万272円（同2.3%）、④調剤：3万5,164円（同9.2%）となっている。
- 医療費3要素の伸び率の影響度をみると、医科入院では、1日当たり医療費（+4.0%）がプラスであるが、1件当たり日数（▲1.4%）、受診率（▲0.3%）がマイナスに寄与した。
- 医科入院外では、1件当たり日数（▲1.4%）がマイナスであるが、受診率（+9.8%）、1日当たり医療費（+7.1%）が大きくプラスに寄与し、また、調剤（+9.2%）では、1日当たり医療費（▲2.2%）がマイナスであるが、受診率（+12.6%）がプラスに大きく寄与した。

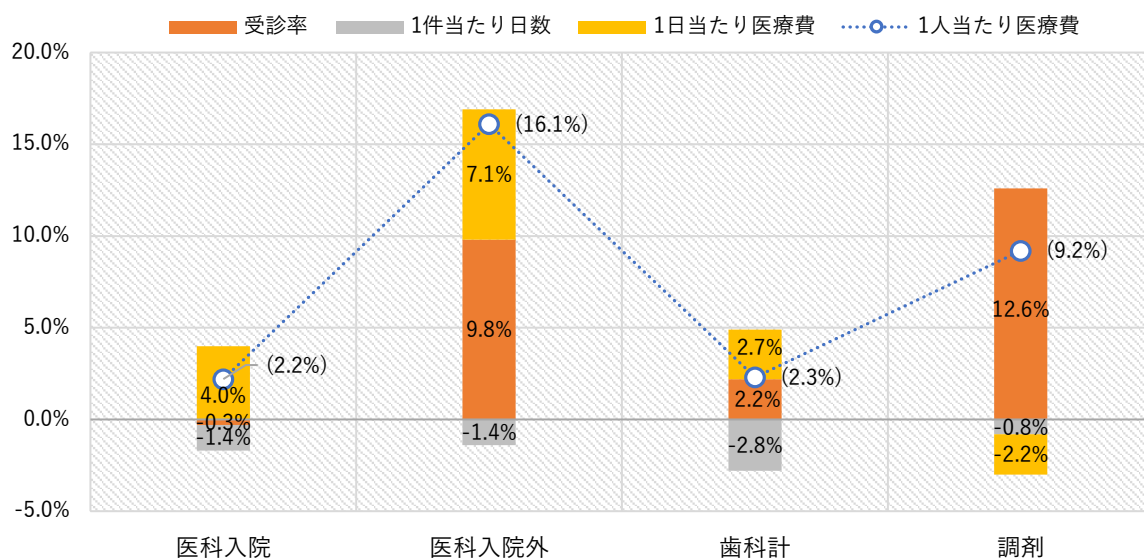
1人当たり医療費及び医療費3要素

診療区分	1人当たり医療費（円）	受診率（件/千人）	1件当たり日数（日）	1日当たり医療費（円）
医科入院	41,687	77.7	8.6	62,764
医科入院外	81,597	6,883.4	1.4	8,600
歯科計	20,272	1,845.8	1.4	7,947
調剤	35,164	4,525.3	1.2	6,491

対前年度比伸び率

診療区分	1人当たり医療費	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費
医科入院	2.2%	-0.3%	-1.4%	4.0%
医科入院外	16.1%	9.8%	-1.4%	7.1%
歯科計	2.3%	2.2%	-2.8%	2.7%
調剤	9.2%	12.6%	-0.8%	-2.2%

1人当たり医療費 伸び率の影響度



【参考】前期高齢者（65-74歳）

- 診療区分別に1人当たり医療費をみると、①医科入院：14万8,186円（対前年度比2.3%）、②医科入院外：17万7,643円（同2.3%）、③歯科計：3万5,642円（同5.2%）④調剤：8万5,418円（同1.3%）—となっている。
- 医療費3要素の伸び率の影響度をみると、伸び率が最も高かった歯科では、1件当たり日数（▲2.4%）がマイナスであるが、受診率（+4.7%）、1日当たり医療費（+2.8%）がプラスに寄与した。
- また、医科入院では、1件当たり日数（▲2.8%）がマイナスであるが、1日当たり医療費（+5.1%）がプラスに寄与し、医科入院外では、受診率（+2.5%）、1日当たり医療費（+0.6%）がプラスに寄与した。

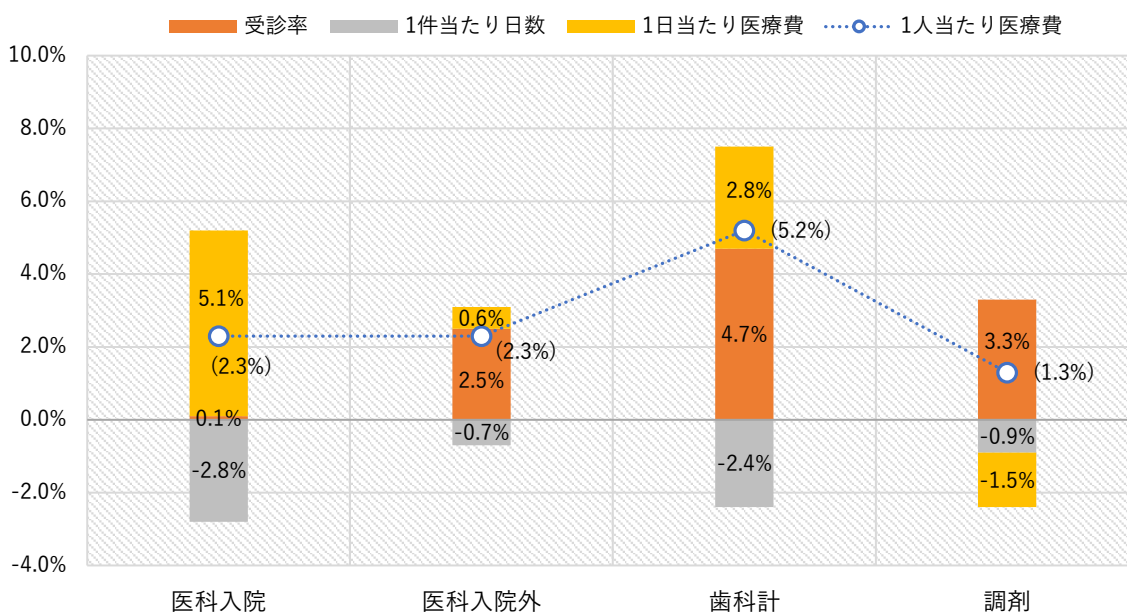
1人当たり医療費及び医療費3要素

診療区分	1人当たり医療費（円）	受診率（件/千人）	1件当たり日数（日）	1日当たり医療費（円）
医科入院	148,186	206.4	10.4	68,857
医科入院外	177,643	11,282.8	1.5	10,896
歯科計	35,642	2,755.4	1.6	7,876
調剤	85,418	7,537.5	1.1	9,991

対前年度比伸び率

診療区分	1人当たり医療費	受診率	1件当たり日数	1日当たり医療費
医科入院	2.3%	0.1%	-2.8%	5.1%
医科入院外	2.3%	2.5%	-0.7%	0.6%
歯科計	5.2%	4.7%	-2.4%	2.8%
調剤	1.3%	3.3%	-0.9%	-1.5%

1人当たり医療費 伸び率の影響度



第Ⅱ部：令和4年度 疾病別医科医療費（調剤を含む）の動向（1,310組合ベース）

1. 疾病19分類別にみた医療費構成割合

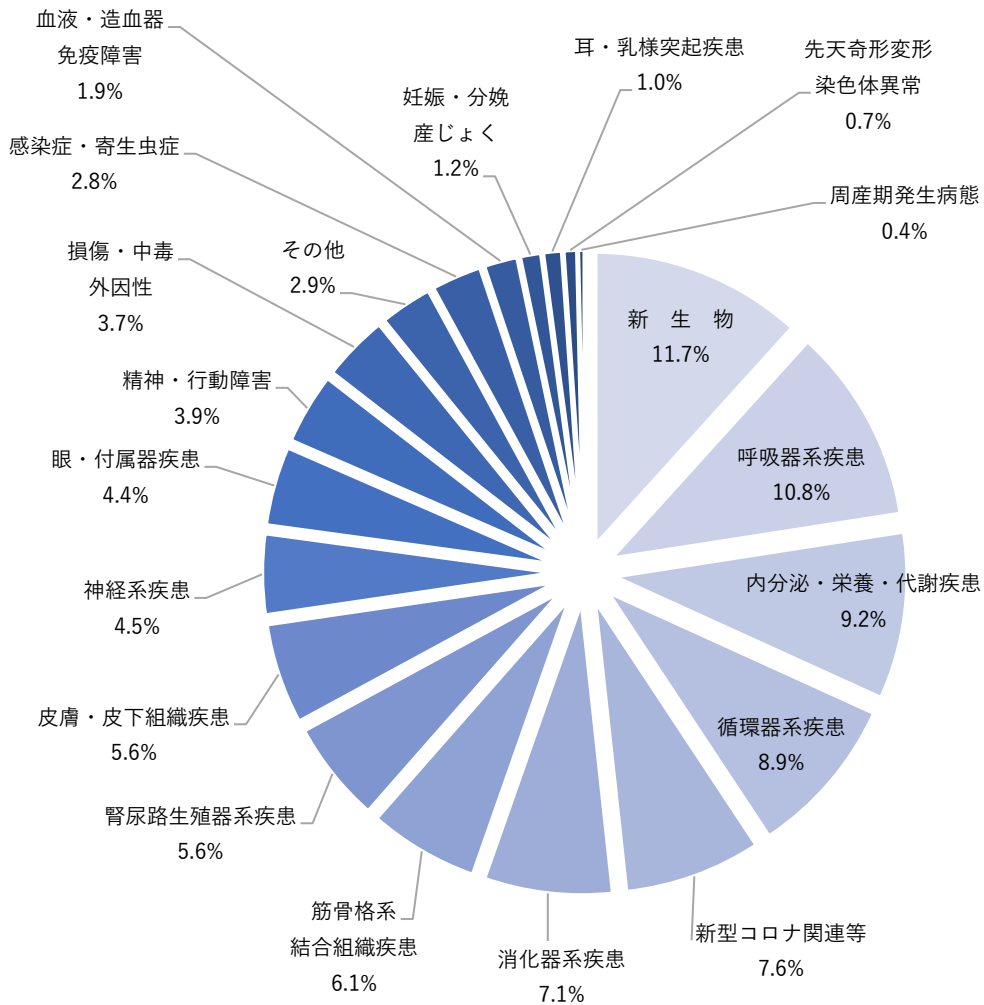
(1) 医科計

- 医科計（1,310組合：3兆9,254億円）における疾病19分類別医療費の構成割合をみると、①新生物が11.7%、②呼吸器系疾患：10.8%、③内分泌・栄養・代謝疾患：9.2%、④循環器系疾患：8.9%、⑤新型コロナ関連等：7.6%—となっており、上位5疾病で全体の48.3%を占める。
- なお、令和3年度（参考数値 p.12）では、①新生物：12.1%、②呼吸器系疾患：10.3%、③内分泌・栄養・代謝疾患：9.7%、④循環器系疾患：9.5%、⑤消化器系疾患：7.5%—となっており、上位5疾病で全体の49.1%を占める。また、新型コロナ関連等は3.9%だった。

令和4年度 疾病19分類別医療費構成割合

【医科計】

<1,310組合：3兆9,254億円>



参考：疾病 19 分類別医療費構成割合【医科計】（令和 4 年度における構成割合の高い順）

疾病分類名	令和 4 年度 (1,310 組合)	(参考) 令和 3 年度 (1,308 組合)
新 生 物	11.7%	12.1%
呼吸器系疾患	10.8%	10.3%
内分泌・栄養・代謝疾患	9.2%	9.7%
循環器系疾患	8.9%	9.5%
新型コロナ関連等	7.6%	3.9%
消化器系疾患	7.1%	7.5%
筋骨格系・結合組織疾患	6.1%	6.6%
腎尿路生殖器系疾患	5.6%	5.0%
皮膚・皮下組織疾患	5.6%	6.0%
神経系疾患	4.5%	4.6%
眼・付属器疾患	4.4%	4.5%
精神・行動障害	3.9%	4.3%
損傷・中毒・外因性	3.7%	3.6%
その他*)	2.9%	3.7%
感染症・寄生虫症	2.8%	3.1%
血液・造血器・免疫障害	1.9%	1.9%
妊娠・分娩・産じょく	1.2%	1.3%
耳・乳様突起疾患	1.0%	1.1%
先天奇形変形・染色体異常	0.7%	0.8%
周産期発生病態	0.4%	0.4%

*) 円グラフ及び表中の「その他」は、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」である（以下、同じ）。

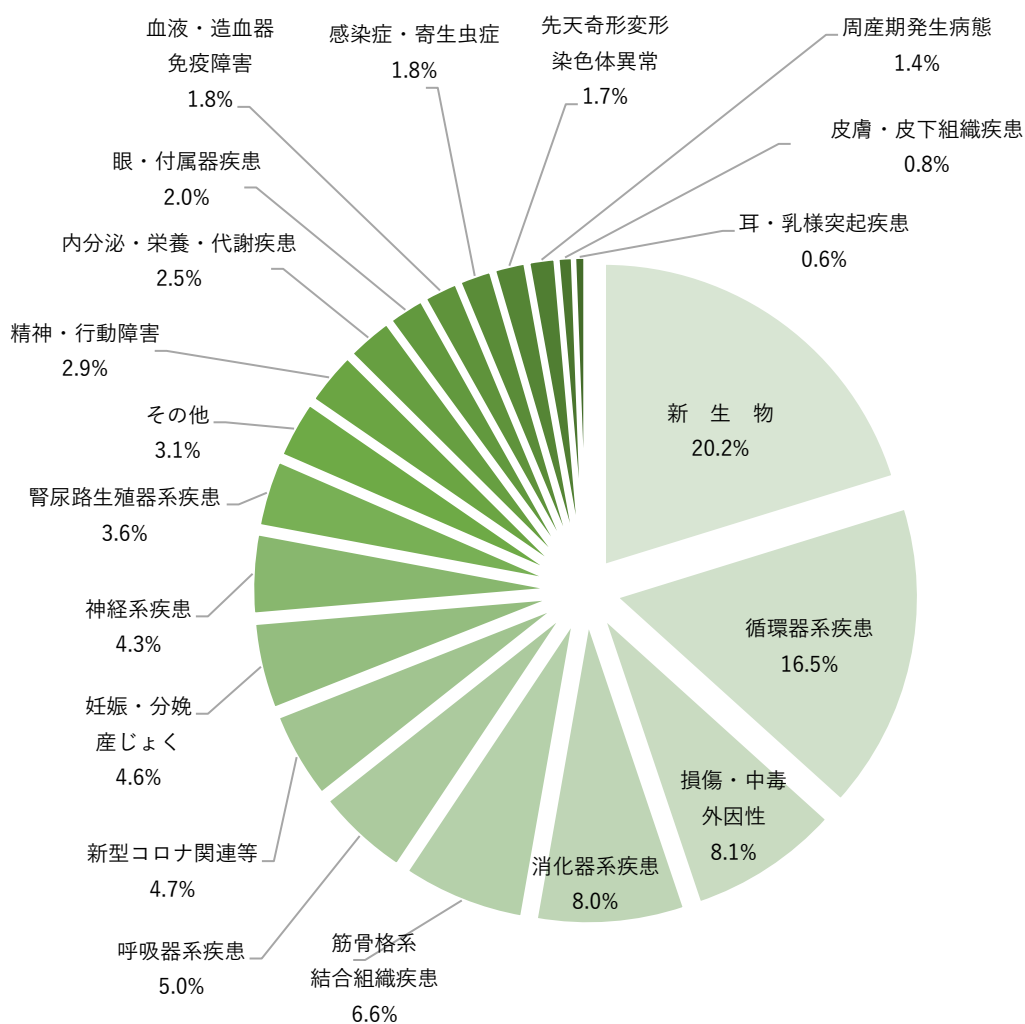
(2) 医科入院

- 医科入院（1,310 組合：8,904 億円）における疾病 19 分類別医療費の構成割合をみると、①新生物が 20.2%、②循環器系疾患：16.5%、③損傷・中毒・外因性：8.1%、④消化器系疾患：8.0%、⑤筋骨格系・結合組織疾患：6.6%—となっており、上位 5 疾病で全体の 59.4%を占める。また、新型コロナ関連等は 4.7%となっている。
- なお、令和 3 年度（参考数値 p.14）では、①新生物：19.9%、②循環器系疾患：16.3%、③消化器系疾患：8.1%、④損傷・中毒・外因性：7.3%、⑤筋骨格系・結合組織疾患：6.4%—で、上位 5 疾病で全体の 58.0%を占める。また、新型コロナ関連等は 3.6%だった。

令和 4 年度 疾病 19 分類別医療費構成割合

【医科入院】

<1,310 組合：8,904 億円>



参考：疾病 19 分類別医療費構成割合【医科入院】（令和 4 年度における構成割合の高い順）

疾病分類名	令和 4 年度 (1,310 組合)	(参考) 令和 3 年度 (1,308 組合)
新 生 物	20.2%	19.9%
循環器系疾患	16.5%	16.3%
損傷・中毒・外因性	8.1%	7.3%
消化器系疾患	8.0%	8.1%
筋骨格系・結合組織疾患	6.6%	6.4%
呼吸器系疾患	5.0%	5.2%
新型コロナ関連等	4.7%	3.6%
妊娠・分娩・産じょく	4.6%	4.9%
神経系疾患	4.3%	4.4%
腎尿路生殖器系疾患	3.6%	3.6%
その他	3.1%	3.9%
精神・行動障害	2.9%	3.1%
内分泌・栄養・代謝疾患	2.5%	2.6%
眼・付属器疾患	2.0%	1.9%
血液・造血器・免疫障害	1.8%	2.0%
感染症・寄生虫症	1.8%	1.9%
先天奇形変形・染色体異常	1.7%	1.8%
周産期発生病態	1.4%	1.7%
皮膚・皮下組織疾患	0.8%	0.8%
耳・乳様突起疾患	0.6%	0.6%

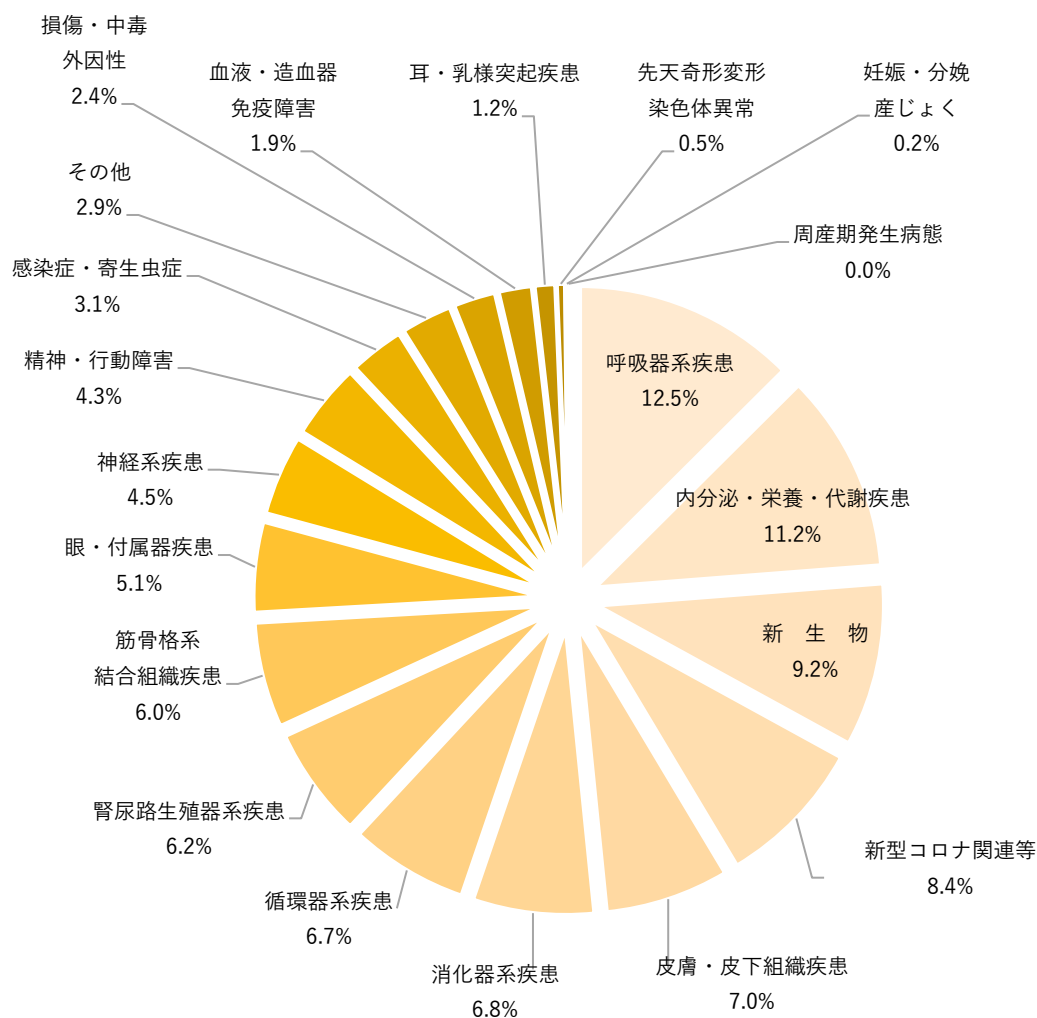
(3) 医科入院外（調剤を含む）

- 医科入院外（1,310 組合：3 兆 350 億円）における疾病 19 分類別医療費の構成割合をみると、①呼吸器系疾患が 12.5%、②内分泌・栄養・代謝疾患：11.2%、③新生物：9.2%、④新型コロナ関連等：8.4%、⑤皮膚・皮下組織疾患：7.0%—となっており、上位 5 疾病で全体の 48.4%を占める。
- なお、令和 3 年度（参考数値 p.16）では、①内分泌・栄養・代謝疾患：12.0%、②呼吸器系疾患：11.9%、③新生物：9.6%、④皮膚・皮下組織疾患：7.7%⑤消化器系疾患：7.4%—で、上位 5 疾病で全体の 48.5%を占める。また、新型コロナ関連等は 4.1%だった。

令和 4 年度 疾病 19 分類別医療費構成割合

【医科入院外】

<1,310 組合：3 兆 350 億円>



参考：疾病 19 分類別医療費構成割合【医科入院外】（令和 4 年度における構成割合の高い順）

疾病分類名	令和 4 年度 (1,310 組合)	(参考) 令和 3 年度 (1,308 組合)
呼吸器系疾患	12.5%	11.9%
内分泌・栄養・代謝疾患	11.2%	12.0%
新 生 物	9.2%	9.6%
新型コロナ関連等	8.4%	4.1%
皮膚・皮下組織疾患	7.0%	7.7%
消化器系疾患	6.8%	7.4%
循環器系疾患	6.7%	7.3%
腎尿路生殖器系疾患	6.2%	5.5%
筋骨格系・結合組織疾患	6.0%	6.6%
眼・付属器疾患	5.1%	5.3%
神経系疾患	4.5%	4.6%
精神・行動障害	4.3%	4.7%
感染症・寄生虫症	3.1%	3.4%
その他	2.9%	3.7%
損傷・中毒・外因性	2.4%	2.5%
血液・造血器・免疫障害	1.9%	1.9%
耳・乳様突起疾患	1.2%	1.3%
先天奇形変形・染色体異常	0.5%	0.4%
妊娠・分娩・産じょく	0.2%	0.2%
周産期発生病態	0.0%	0.0%

2. 疾病 19 分類別にみた加入者 1 人当たり医療費

(1) 医科計 (調剤を含む)

① 加入者 1 人当たり医療費

- 新生物が 1 万 6,970 円と最も高く、次いで、呼吸器系疾患：1 万 5,692 円、内分泌・栄養・代謝疾患：1 万 3,393 円、循環器系疾患：1 万 2,909 円—となっている。

令和 4 年度 疾病 19 分類別 1 人当たり医療費(円)

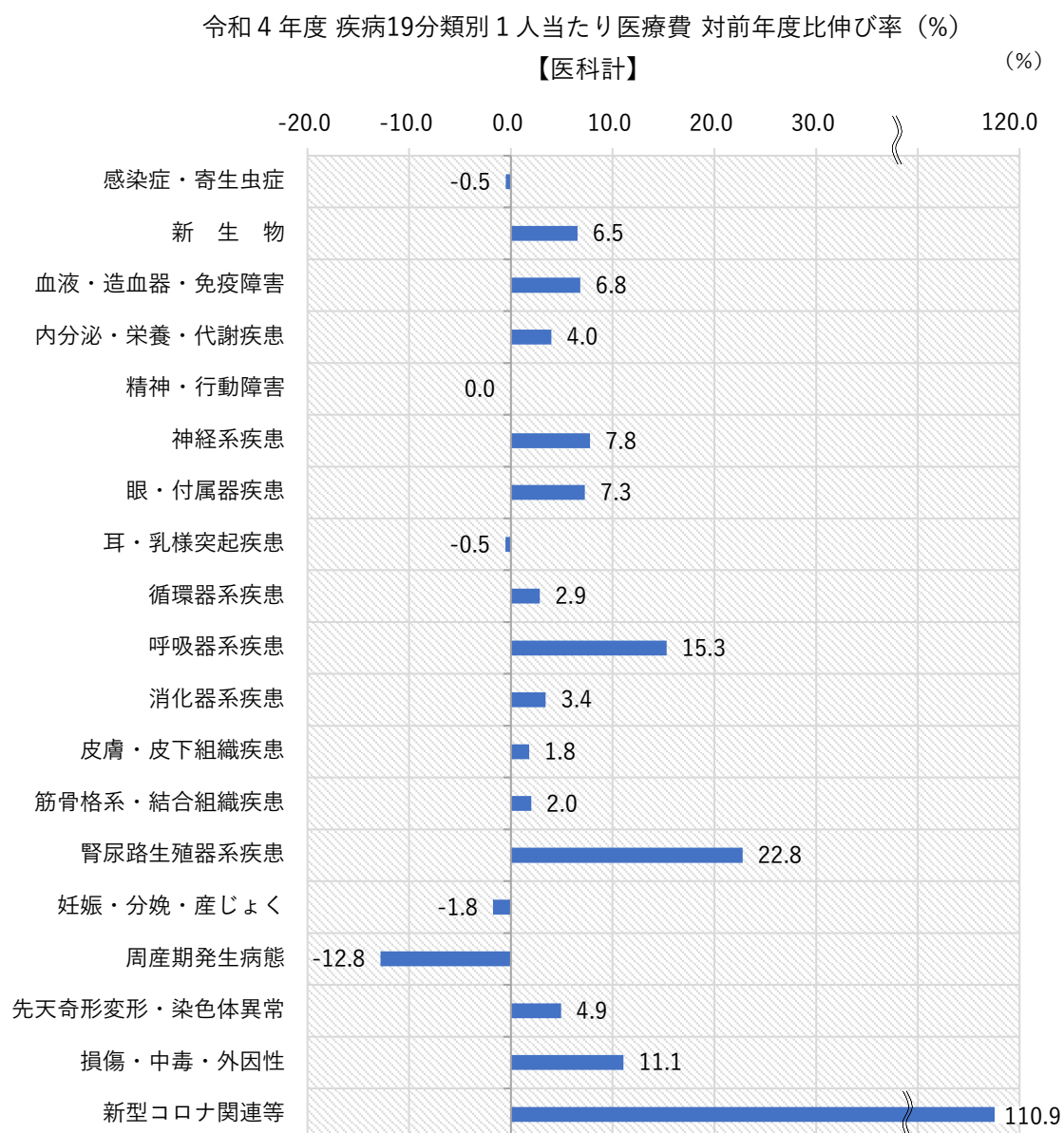


② 対前年度比伸び率⁴

○ 新型コロナ関連等が 110.9%と大きく増加し、次いで、腎尿路生殖器系疾患：22.8%、呼吸器系疾患：15.3%—となっている。

○ また、周産期発生病態：▲12.8%、妊娠・分娩・産じょく：▲1.8%—と減少した。

※ なお、令和4年4月から新たに不妊治療が保険適用となり、疾病分類上、不妊治療に係る医療費⁵の多くが「腎尿路生殖器系疾患」に計上されるため、同分類の伸び率にその影響がみられる。



⁴ 対前年度比伸び率は、令和4年度の調査対象：1,310組合のうち、令和4年度と3年度の両年度にわたりデータ提供のあった同一の1,290組合ベースに基づく値である（以下、同じ）。

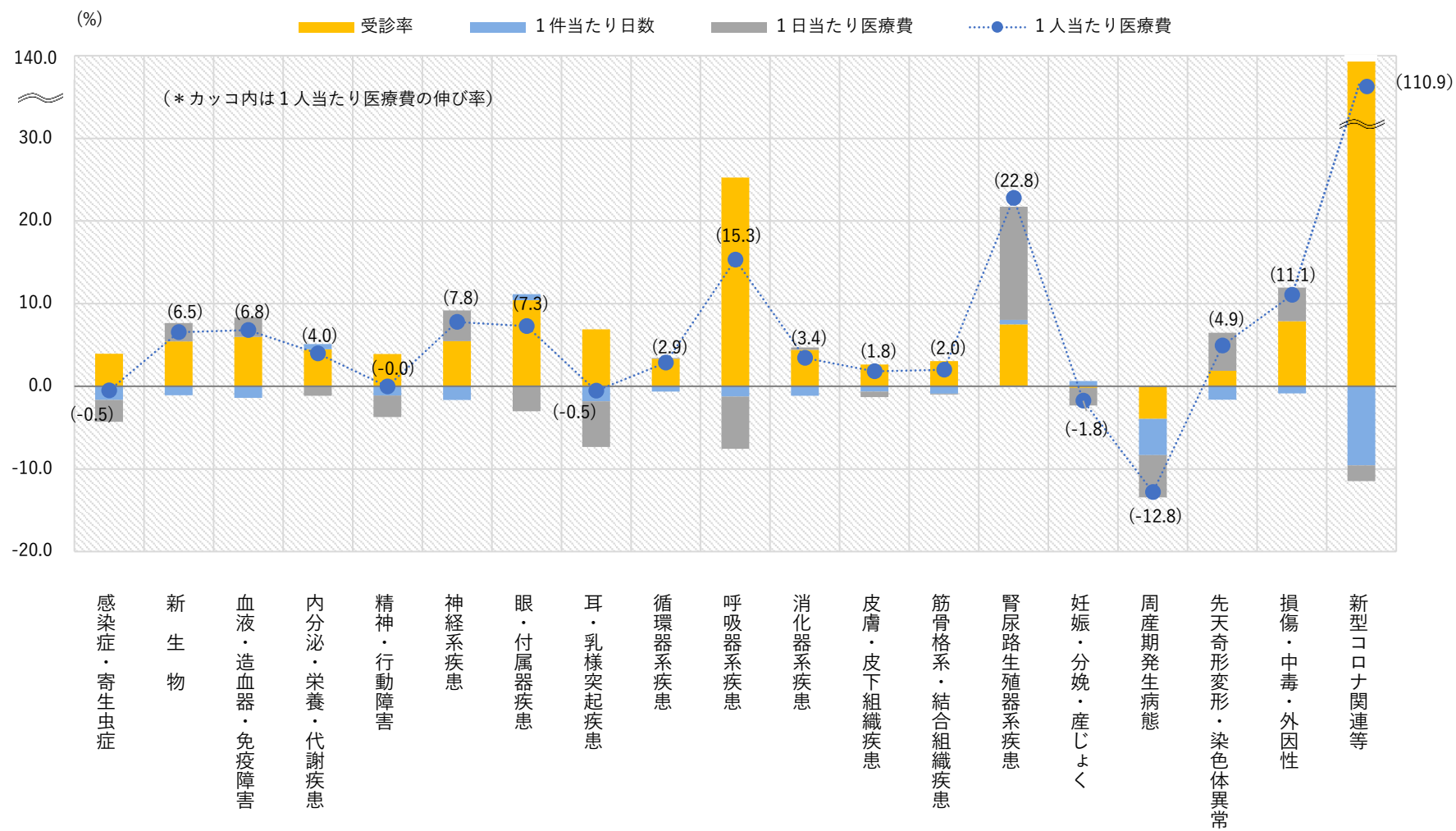
⁵ 疾病分類上、不妊治療に係る医療費は「腎尿路生殖器系疾患」のほか、「内分泌・栄養・代謝疾患」にも一部計上される。

令和4年度【医科計】1人当たり医療費及び医療費3要素の対前年度比伸び率（%）

疾病分類名	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲0.5	4.0	▲1.7	▲2.6
新生物	6.5	5.4	▲1.1	2.2
血液・造血器・免疫障害	6.8	6.0	▲1.4	2.3
内分泌・栄養・代謝疾患	4.0	4.5	0.6	▲1.2
精神・行動障害	0.0	3.9	▲1.1	▲2.6
神経系疾患	7.8	5.5	▲1.7	3.7
眼・付属器疾患	7.3	10.4	0.7	▲3.0
耳・乳様突起疾患	▲0.5	6.9	▲1.8	▲5.5
循環器系疾患	2.9	3.3	▲0.6	0.1
呼吸器系疾患	15.3	25.3	▲1.3	▲6.3
消化器系疾患	3.4	4.4	▲1.1	0.3
皮膚・皮下組織疾患	1.8	2.6	▲0.6	▲0.7
筋骨格系・結合組織疾患	2.0	3.1	▲0.9	▲0.1
腎尿路生殖器系疾患	22.8	7.5	0.5	13.7
妊娠・分娩・産じょく	▲1.8	▲0.2	0.6	▲2.1
周産期発生病態	▲12.8	▲3.9	▲4.4	▲5.1
先天奇形変形・染色体異常	4.9	1.9	▲1.6	4.6
損傷・中毒・外因性	11.1	7.9	▲0.9	4.1
新型コロナ関連等	110.9	138.9	▲9.6	▲1.9

令和4年度 疾病19分類別1人当たり医療費 対前年度比伸び率の影響度

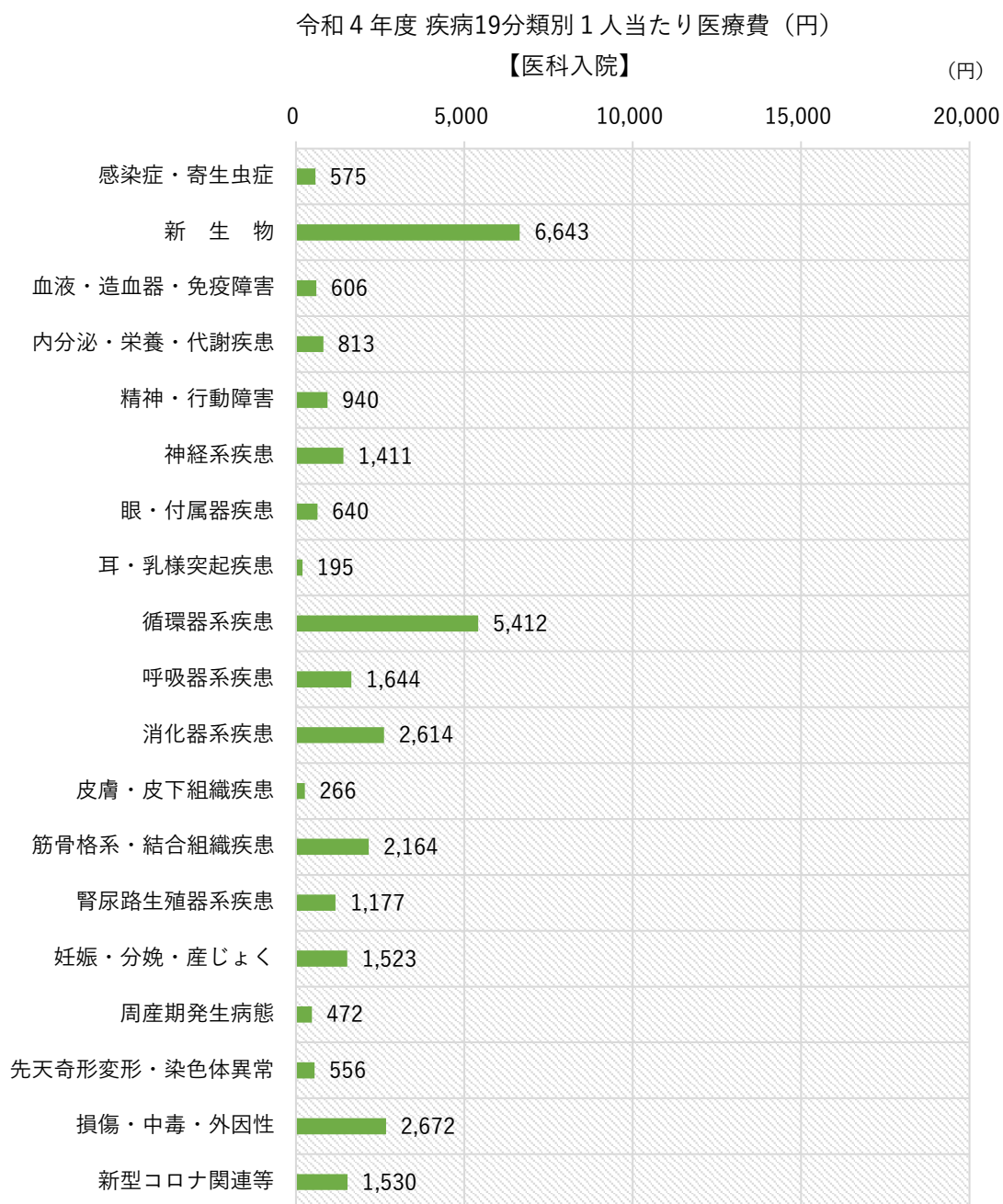
【医科計】



(2) 医科入院

① 加入者1人当たり医療費

- 新生物が6,643円と最も高く、次いで、循環器系疾患：5,412円、損傷・中毒・外因性：2,672円、消化器系疾患：2,614円—となっている。

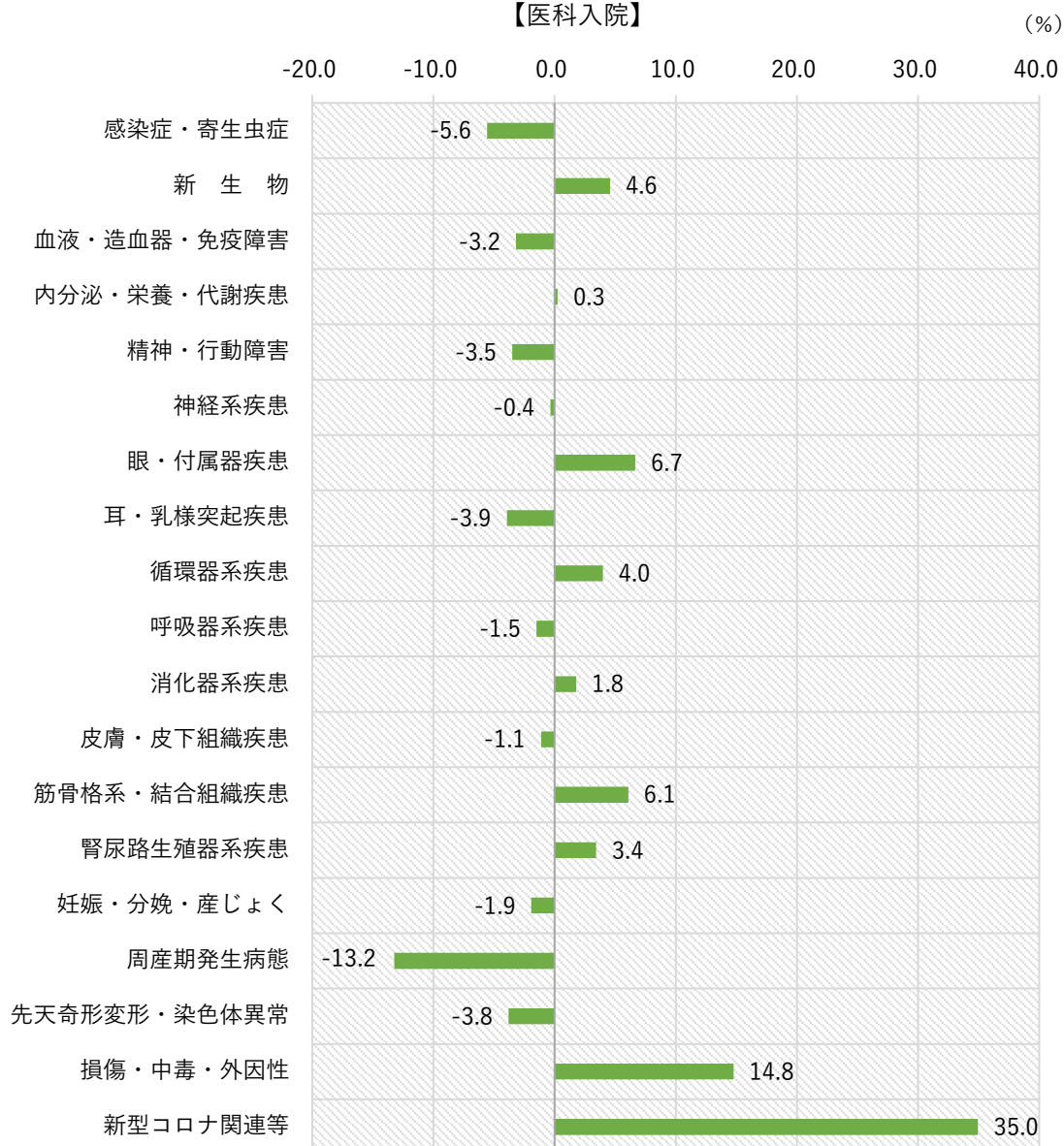


② 対前年度比伸び率

- 新型コロナ関連等が 35.0%と大きく増加しており、次いで、損傷・中毒・外因性：14.8%、眼・付属器系疾患：6.7%—となっている。
- また、周産期発生病態：▲13.2%、感染症・寄生虫症：▲5.6%、耳・乳様突起疾患：▲3.9%—と減少した。

令和4年度 疾病19分類別 1人当たり医療費 対前年度比伸び率 (%)

【医科入院】

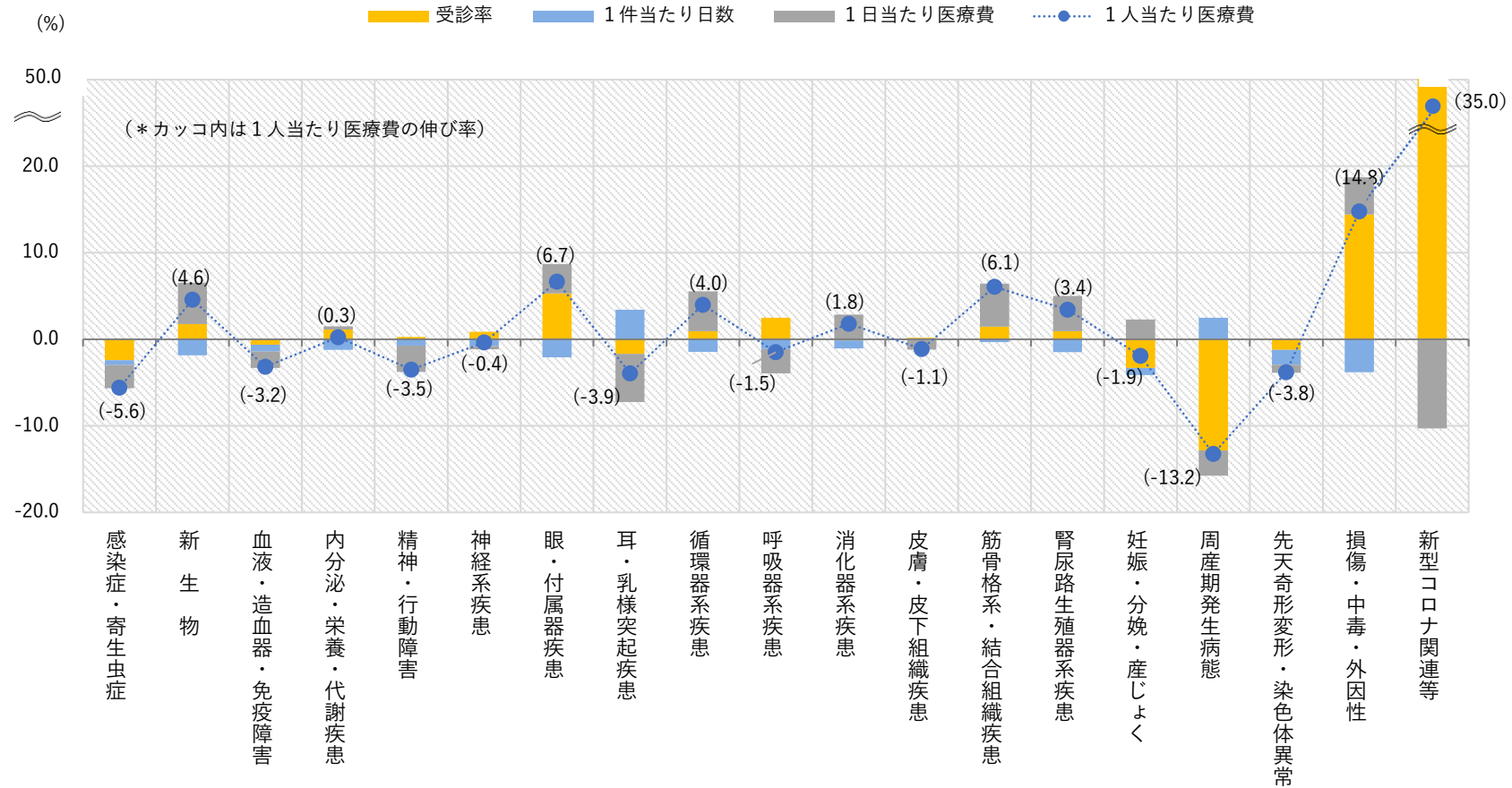


令和4年度【医科入院】1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率（%）

疾病分類名	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲5.6	▲2.4	▲0.6	▲2.7
新生物	4.6	1.8	▲1.9	4.8
血液・造血器・免疫障害	▲3.2	▲0.6	▲0.8	▲1.9
内分泌・栄養・代謝疾患	0.3	1.1	▲1.2	0.4
精神・行動障害	▲3.5	0.3	▲0.7	▲3.0
神経系疾患	▲0.4	0.9	▲0.8	▲0.4
眼・付属器疾患	6.7	5.3	▲2.1	3.4
耳・乳様突起疾患	▲3.9	▲1.7	3.4	▲5.6
循環器系疾患	4.0	0.9	▲1.5	4.6
呼吸器系疾患	▲1.5	2.5	▲1.1	▲2.8
消化器系疾患	1.8	▲0.1	▲0.9	2.9
皮膚・皮下組織疾患	▲1.1	0.2	▲0.1	▲1.1
筋骨格系・結合組織疾患	6.1	1.5	▲0.3	5.0
腎尿路生殖器系疾患	3.4	0.9	▲1.5	4.1
妊娠・分娩・産じょく	▲1.9	▲3.3	▲0.8	2.3
周産期発生病態	▲13.2	▲12.9	2.5	▲2.9
先天奇形変形・染色体異常	▲3.8	▲1.2	▲1.7	▲0.9
損傷・中毒・外因性	14.8	14.4	▲3.8	4.3
新型コロナ関連等	35.0-	48.2	1.5	▲10.3

令和4年度 疾病19分類別1人当たり医療費 伸び率の影響度

【医科入院】

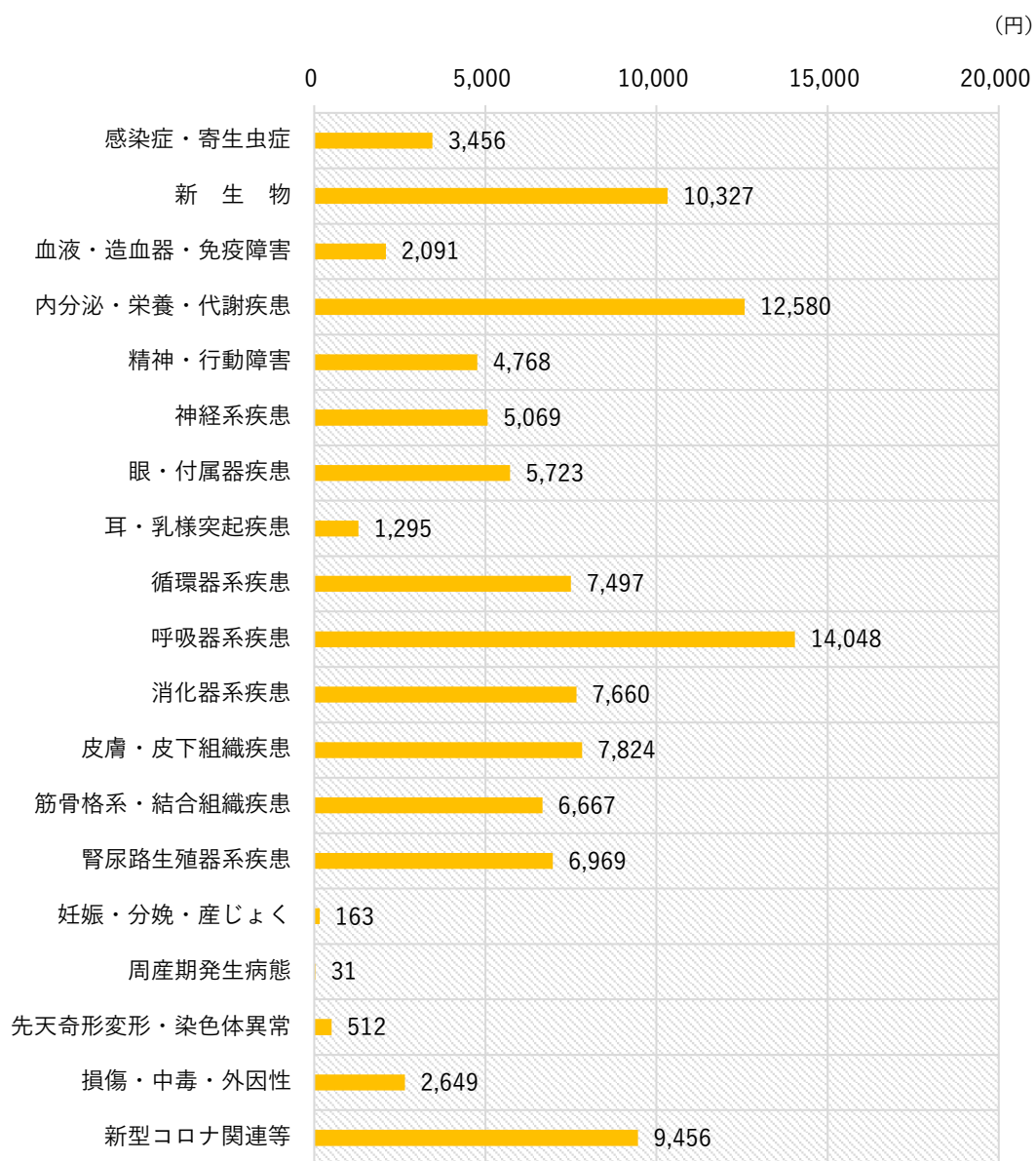


(3) 医科入院外

① 加入者1人当たり医療費

- 呼吸器系疾患が1万4,048円と最も高く、次いで、内分泌・栄養・代謝疾患：1万2,580円、新生物：1万3,27円—となっている。

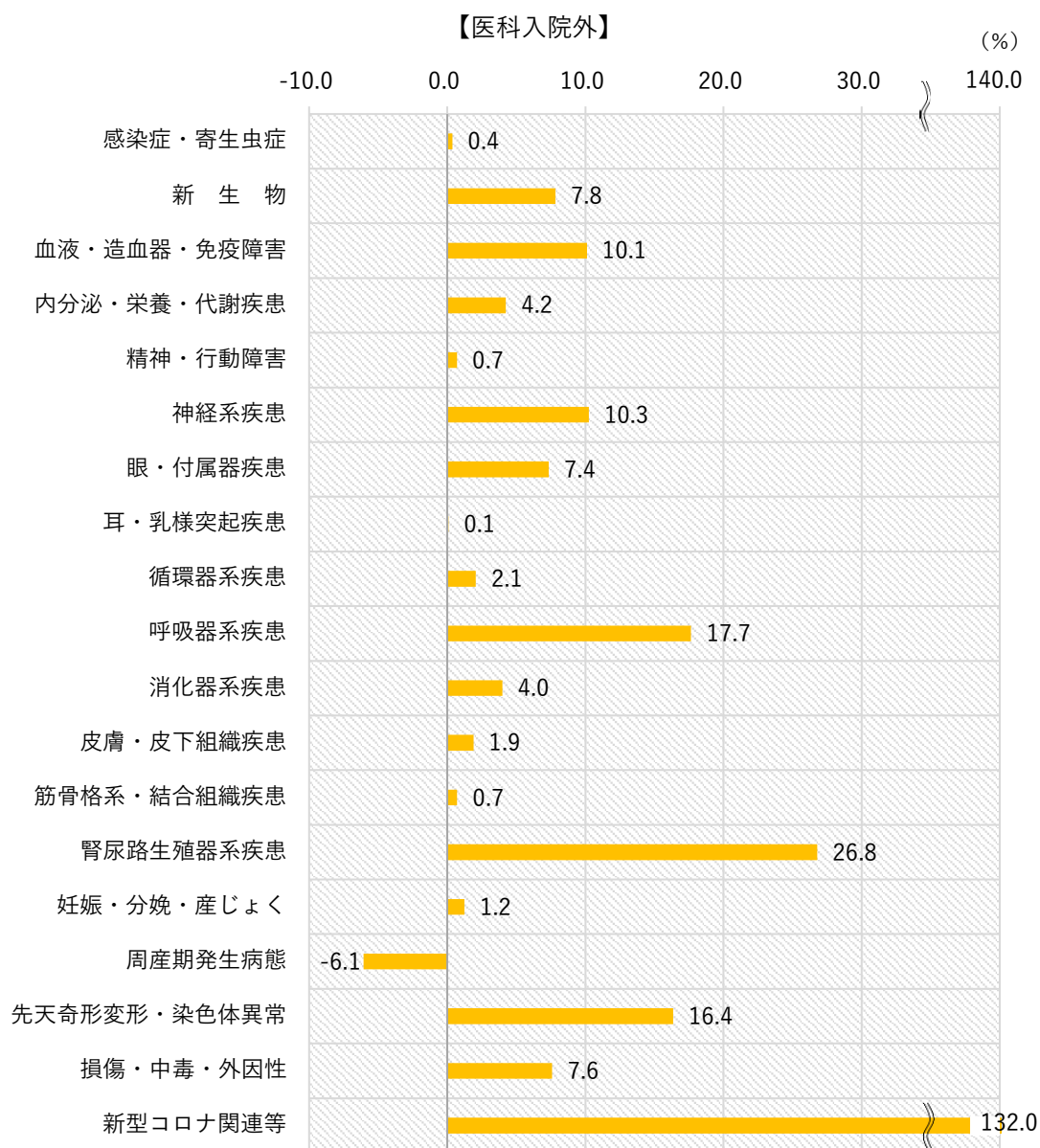
令和4年度 疾病19分類別1人当たり医療費
【医科入院外】



② 対前年度比伸び率

- 新型コロナ関連等が 132.0%と大きく増加しており、次いで、腎尿路生殖器系疾患：26.8%、呼吸器系疾患：17.7%—となっている。また、周産期発生病態は▲6.1%の減少となった。
- ※ なお、令和4年4月から新たに不妊治療が保険適用となり、疾病分類上、不妊治療に係る医療費⁶の多くが「腎尿路生殖器系疾患」に計上されるため、同分類の伸び率にその影響がみられる。

令和4年度 疾病19分類別1人当たり医療費 対前年度比伸び率 (%)



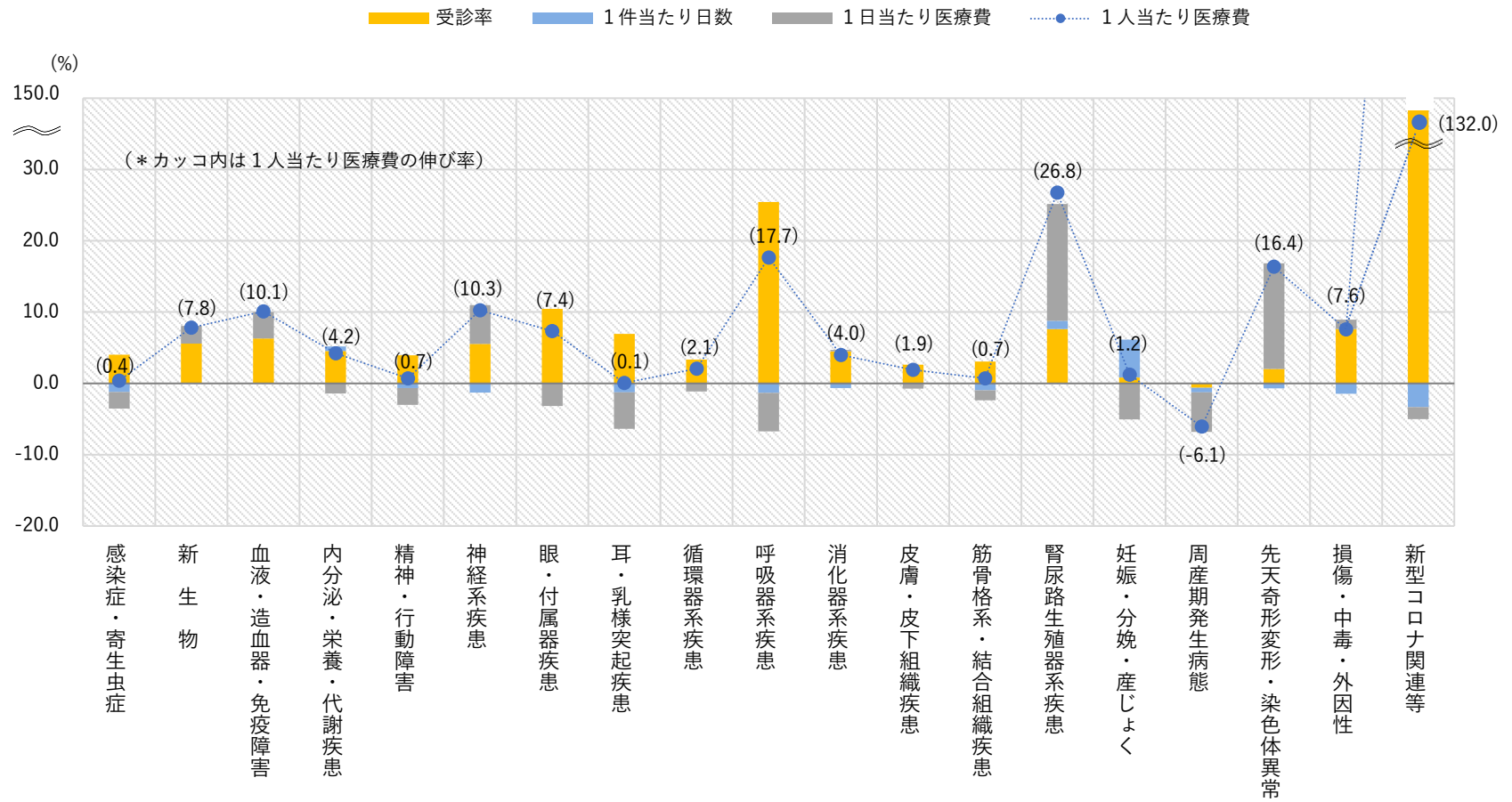
⁶ 疾病分類上、不妊治療に係る医療費は「腎尿路生殖器系疾患」のほか、「内分泌・栄養・代謝疾患」にも一部計上される。

令和4年度【医科入院外】1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率（%）

疾病分類名	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	0.4	4.0	▲1.2	▲2.3
新生物	7.8	5.6	0.0	2.5
血液・造血器・免疫障害	10.1	6.3	0.0	3.7
内分泌・栄養・代謝疾患	4.2	4.5	0.7	▲1.4
精神・行動障害	0.7	4.0	▲0.7	▲2.4
神経系疾患	10.3	5.6	▲1.3	5.4
眼・付属器疾患	7.4	10.4	0.0	▲3.2
耳・乳様突起疾患	0.1	6.9	▲1.3	▲5.1
循環器系疾患	2.1	3.4	0.0	▲1.1
呼吸器系疾患	17.7	25.4	▲1.3	▲5.4
消化器系疾患	4.0	4.5	▲0.7	0.2
皮膚・皮下組織疾患	1.9	2.6	0.0	▲0.7
筋骨格系・結合組織疾患	0.7	3.1	▲1.0	▲1.4
腎尿路生殖器系疾患	26.8	7.6	1.2	16.4
妊娠・分娩・産じょく	1.2	0.8	5.3	▲5.1
周産期発生病態	▲6.1	▲0.6	▲0.6	▲5.6
先天奇形変形・染色体異常	16.4	2.0	▲0.7	14.8
損傷・中毒・外因性	7.6	7.6	▲1.5	1.3
新型コロナ関連等	132.0	144.9	▲3.3	▲1.7

令和4年度 疾病19分類別1人当たり医療費 伸び率の影響度

【医科入院外】



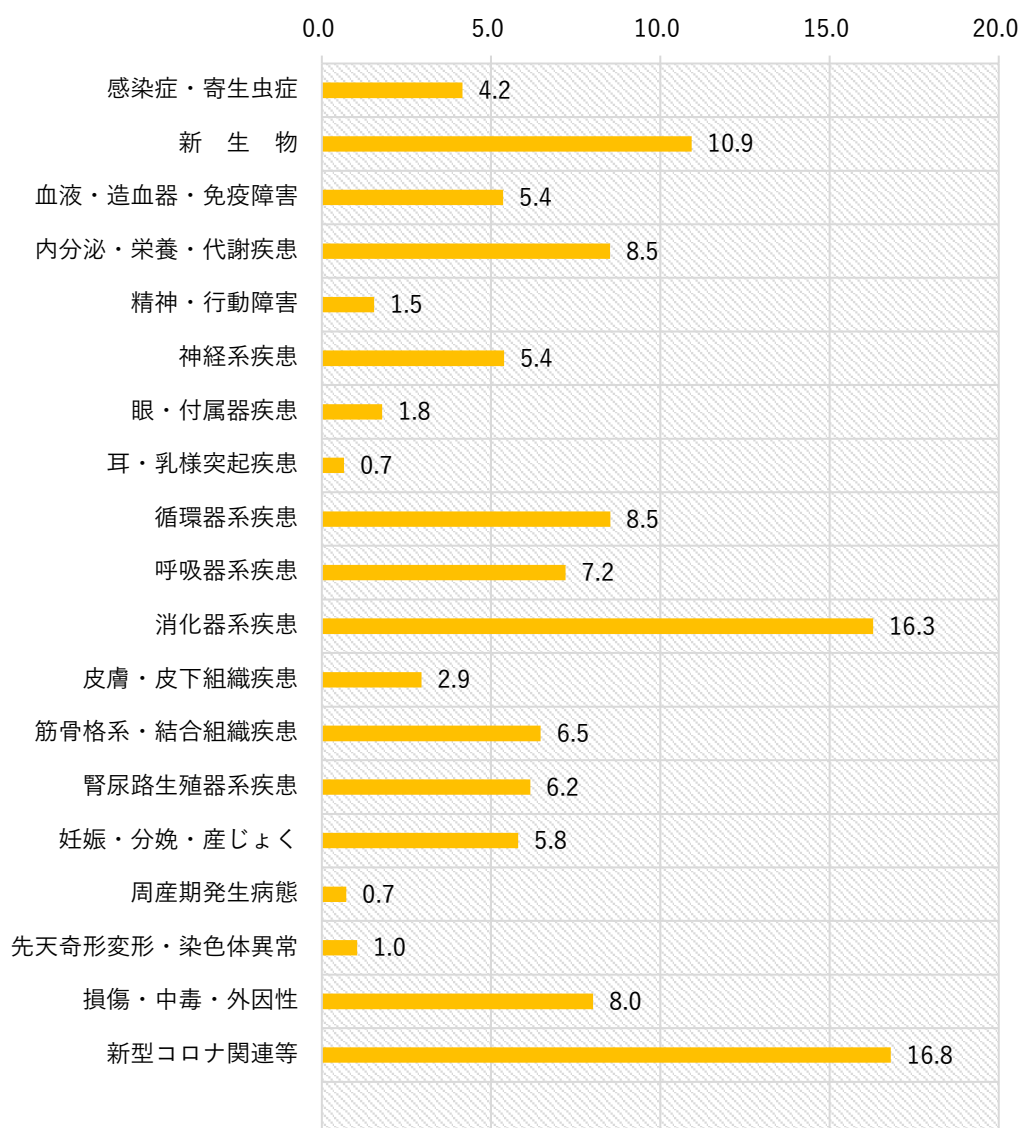
3. 推計新規入院件数、推計平均在院日数、推計1入院当たり医療費

(1) 加入者1,000人当たり推計新規入院件数

- 新型コロナ関連等が16.8件と最も高く、次いで、消化器系疾患：16.3件、新生物：10.9件、内分泌・栄養・代謝疾患及び循環器系疾患：8.5件一となっている。

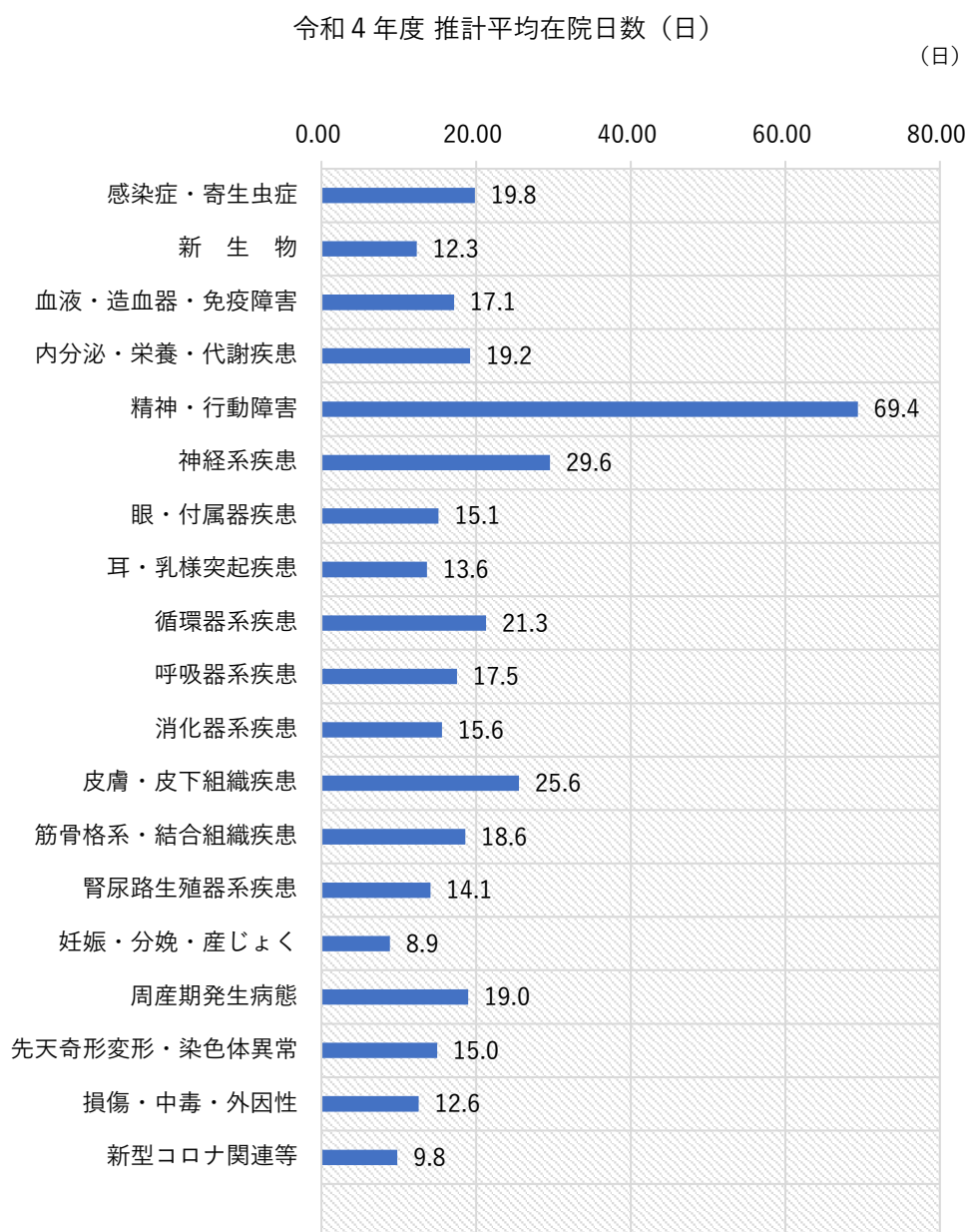
令和4年度 加入者1,000人当たり推計新規入院件数 (件)

(件)



(2) 推計平均在院日数

- 精神・行動障害が 69.4 日と最も長く、次いで、神経系疾患：29.6 日、皮膚・皮下組織疾患：25.6 日、循環器系疾患：21.3 日となっている。



(3) 推計1入院当たり医療費

- 周産期発生病態が65万5,668円と最も高く、次いで、循環器系疾患：63万5,198円、精神・行動障害：60万8,615円、新生物：60万7,939円となっている。

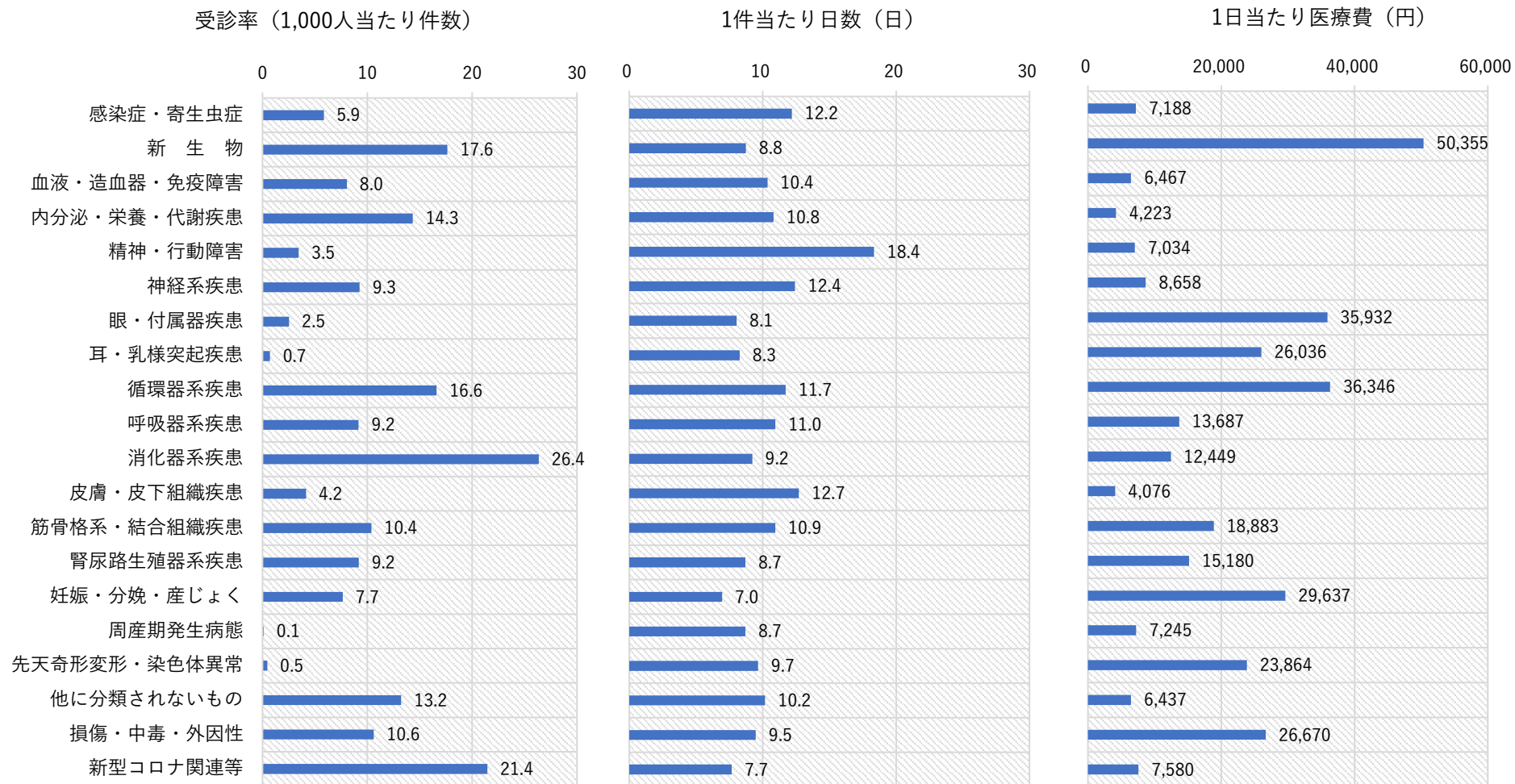


令和4年度 推計新規入院件数、推計平均在院日数、推計1入院当たり医療費

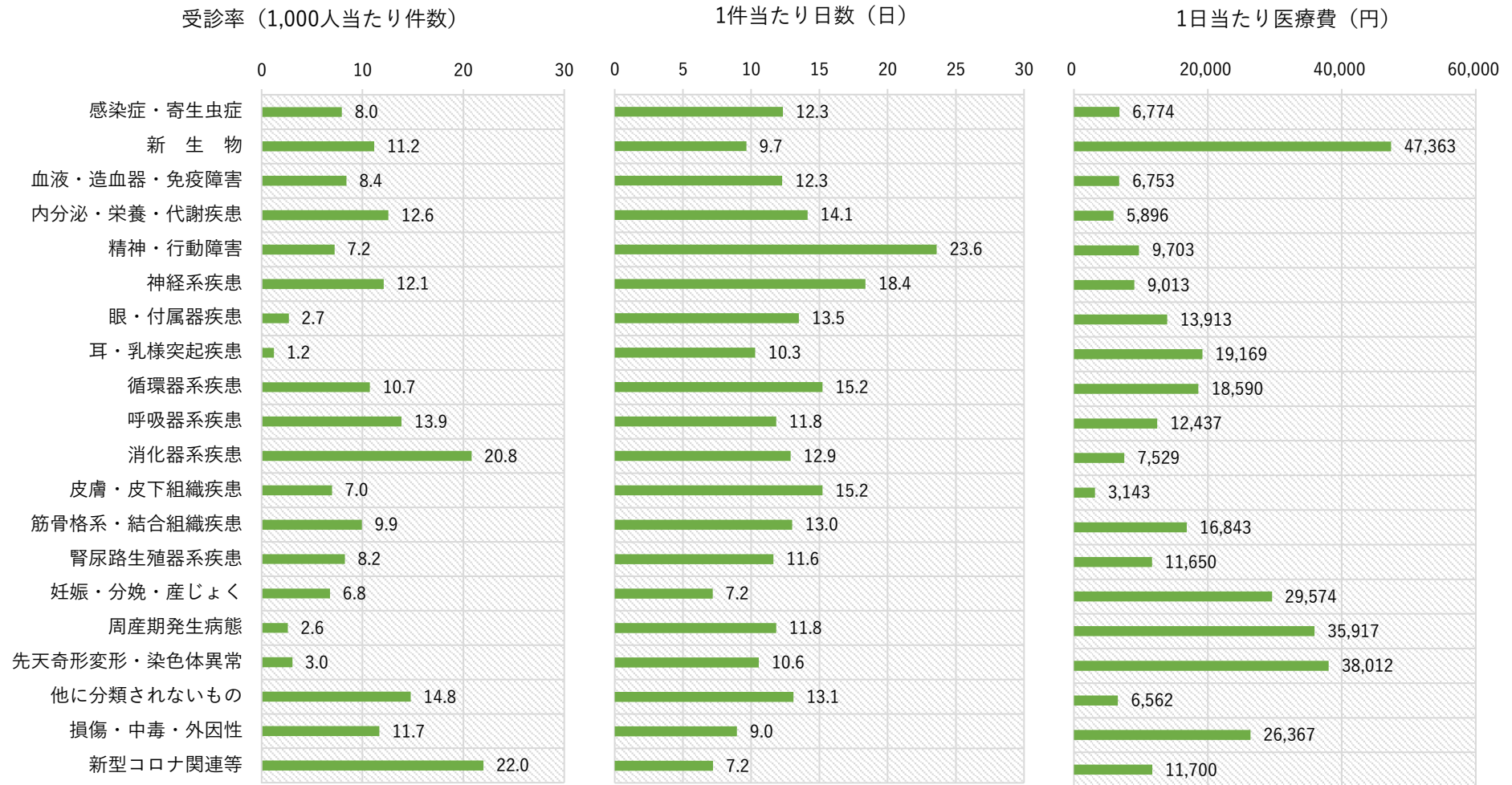
疾病分類名	加入者1,000人当たり 推計新規入院件数(件)	推計平均在院日数 (日)	推計1入院当たり 医療費(円)
感染症・寄生虫症	4.2	19.8	138,501
新生物	10.9	12.3	607,939
血液・造血器・免疫障害	5.4	17.1	113,146
内分泌・栄養・代謝疾患	8.5	19.2	95,491
精神・行動障害	1.5	69.4	608,615
神経系疾患	5.4	29.6	262,086
眼・付属器疾患	1.8	15.1	359,681
耳・乳様突起疾患	0.7	13.6	298,245
循環器系疾患	8.5	21.3	635,198
呼吸器系疾患	7.2	17.5	228,338
消化器系疾患	16.3	15.6	160,528
皮膚・皮下組織疾患	2.9	25.6	90,216
筋骨格系・結合組織疾患	6.5	18.6	334,641
腎尿路生殖器系疾患	6.2	14.1	191,179
妊娠・分娩・産じょく	5.8	8.9	262,625
周産期発生病態	0.7	19.0	655,668
先天奇形変形・染色体異常	1.0	15.0	532,977
損傷・中毒・外因性	8.0	12.6	333,513
新型コロナ関連等	16.8	9.8	90,995

【参考資料】

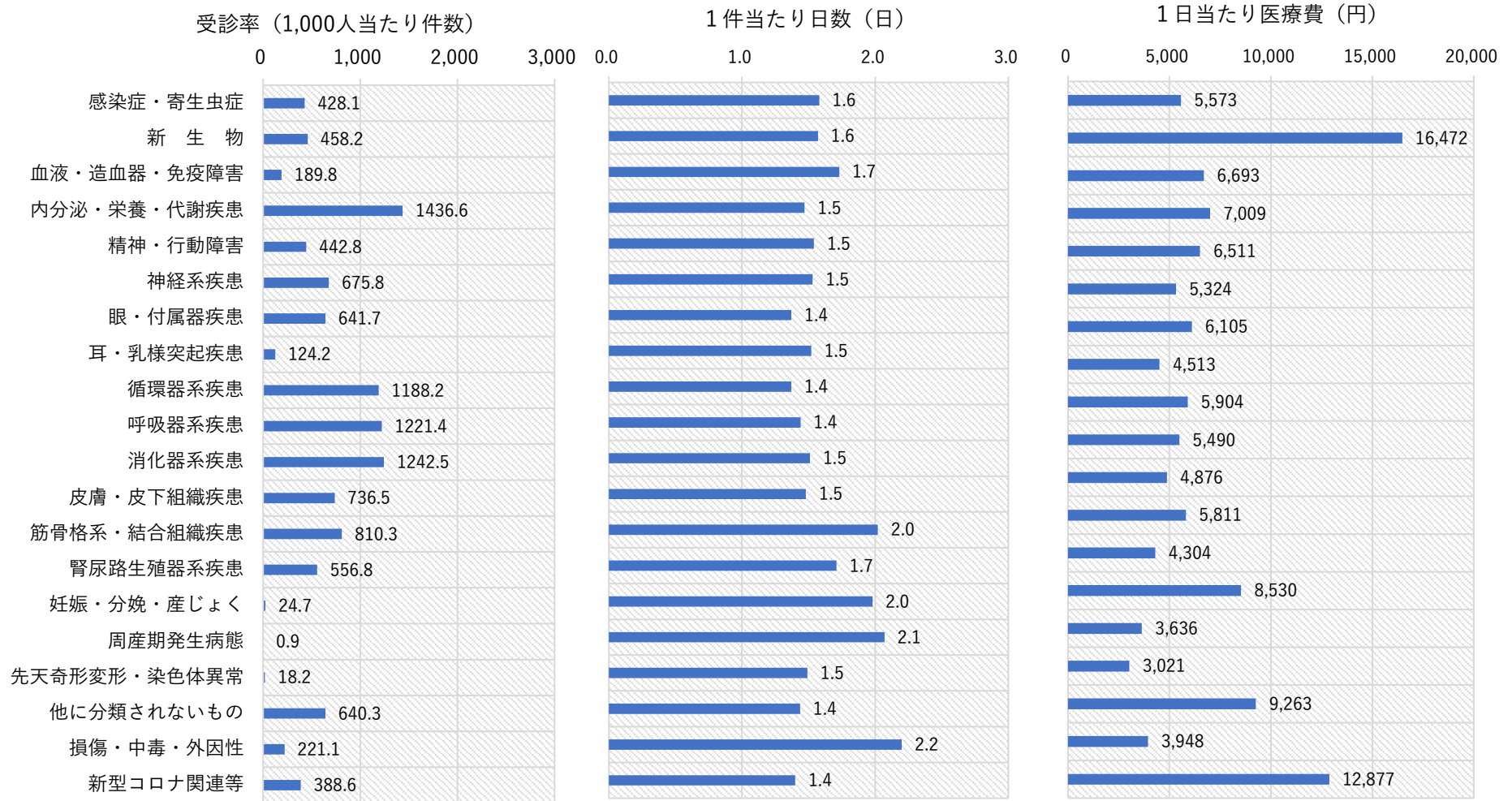
疾病 19 分類別 医療費 3 要素分解：医科入院【本人】



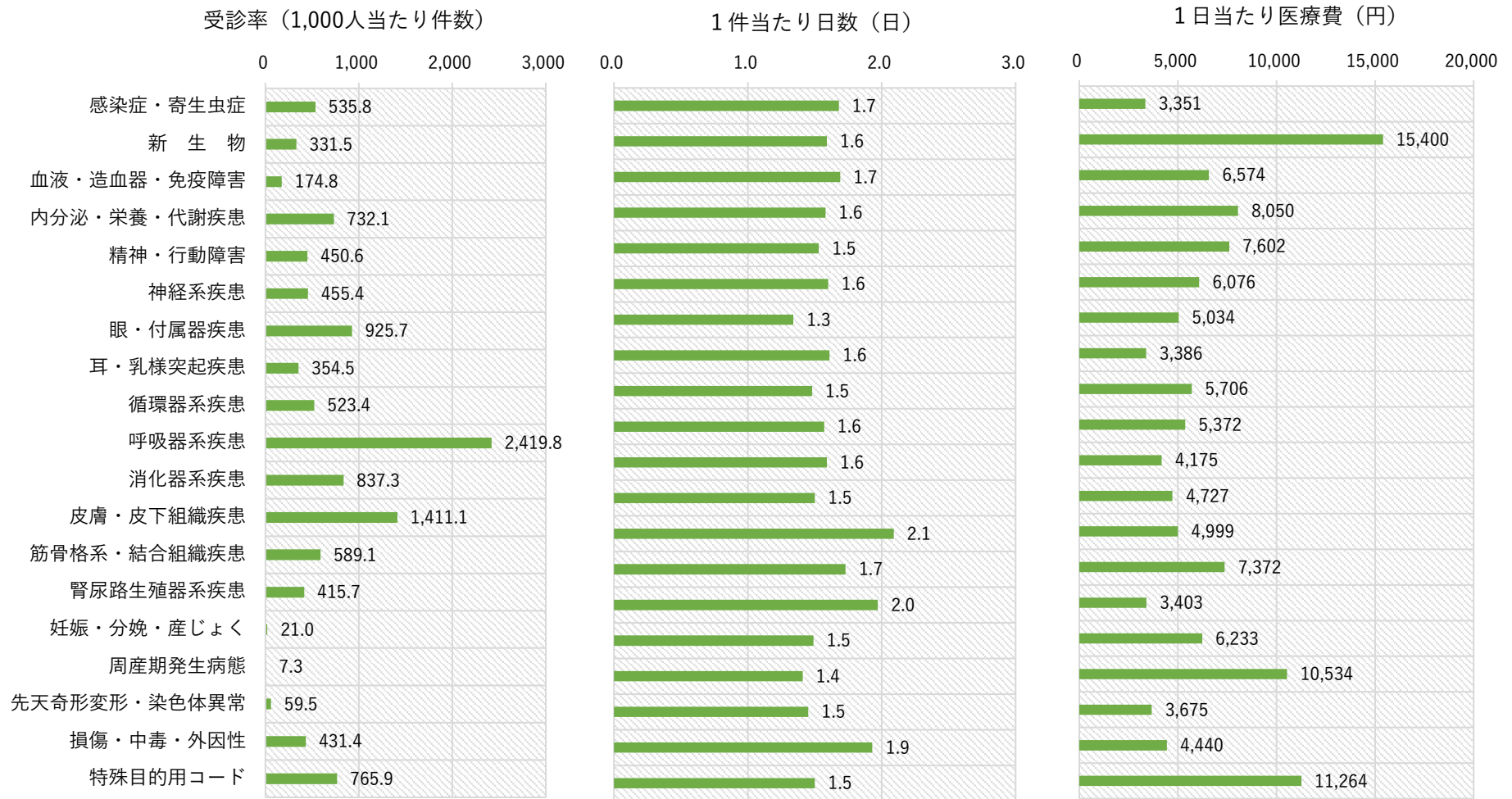
疾病 19 分類別 医療費 3 要素分解：医科入院【家族】



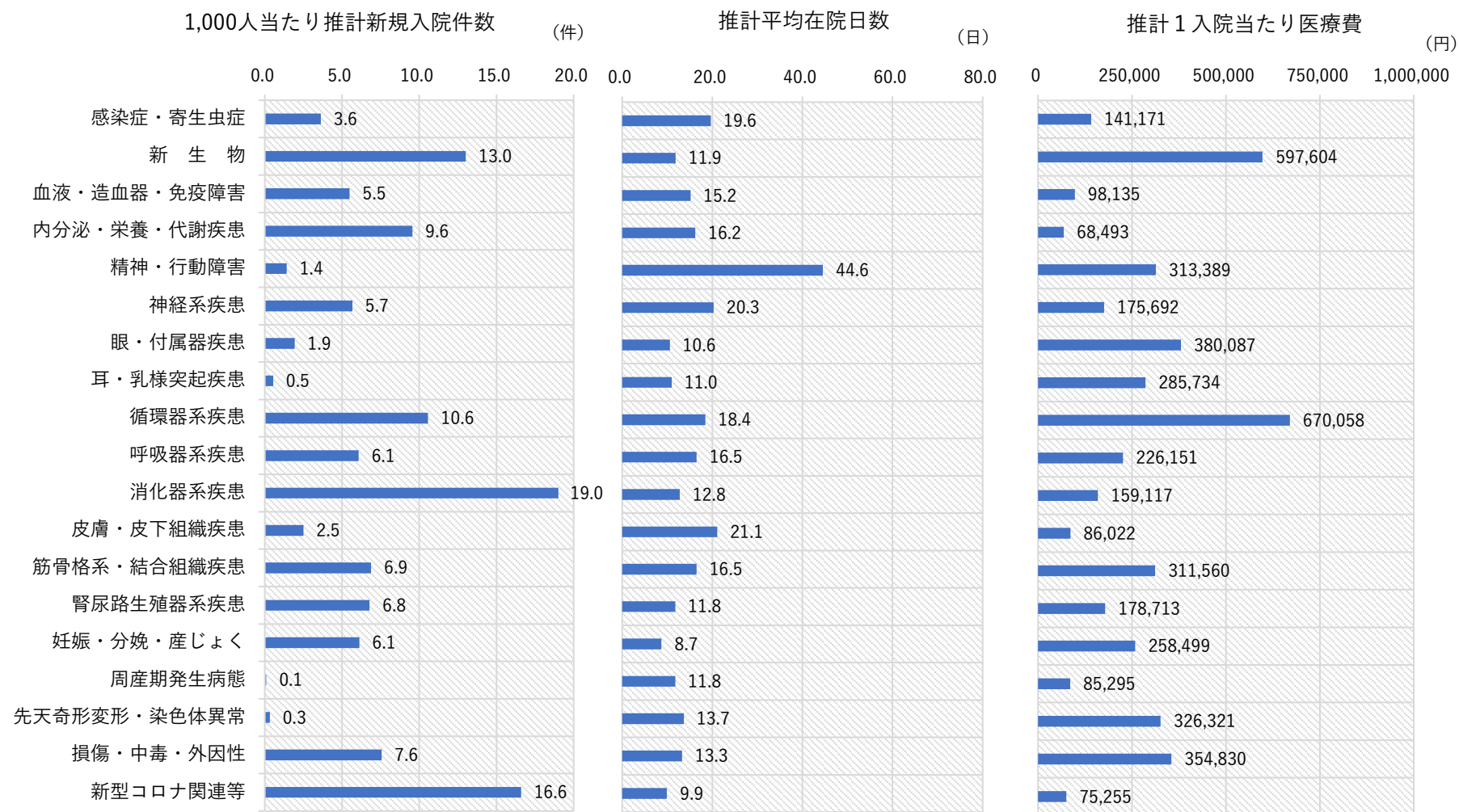
疾病 19 分類別 医療費 3 要素分解：医科入院外【本人】



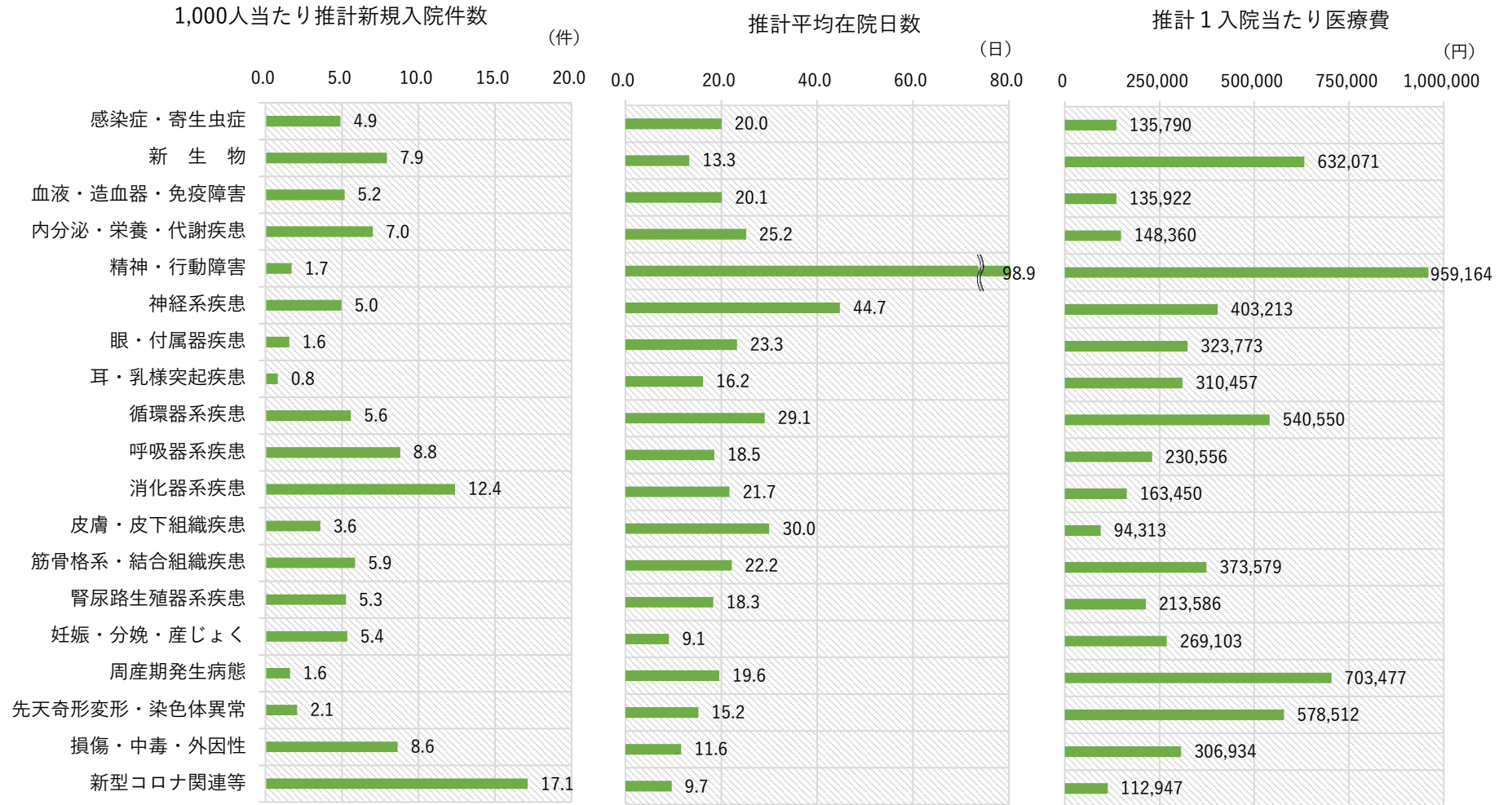
疾病 19 分類別 医療費 3 要素分解：医科入院外【家族】



疾病 19 分類別 入院医療費 3 要素分解：【本人】



疾病 19 分類別・入院医療費 3 要素分解：【家族】



【参考】入院医療費の3要素分解について

入院医療費は、【推計新規入院件数】（入院発生）、【推計平均在院日数】（入院期間）、③【入院の1日当たり医療費】（入院単価）一の3要素の積に分解でき、さらに、「推計新規入院件数」と「推計1入院当たり医療費」（*推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た1入院当たり医療費）の積に分解できる。

推計新規入院件数

$$\text{推計新規入院件数} = \text{受診率 (件)} \times \frac{\text{月の日数} (*) - 1 \text{ 件当たり日数}}{\text{月の日数} - 1 \text{ 日}}$$

推計平均在院日数

$$\text{推計平均在院日数} = 1 \text{ 件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数} - 1 \text{ 日}}{\text{月の日数} - 1 \text{ 件当たり日数}}$$

推計1入院当たり医療費

$$\text{推計1入院当たり医療費} = \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費}$$

入院医療費

$$\begin{aligned} \text{入院医療費} &= \text{入院受診延日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計1入院当たり医療費} \end{aligned}$$

資料：厚生労働省「推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費～入院医療費の3要素分解～」(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/iryohoken03/06.html>)及び「推計平均在院日数の数理分析(II)」・「算定式と関係式一覧」(p.3)をもとに作成

(*) 計算式における「月の日数」について

【単月】の場合 1ヵ月の暦日数。
例) 1月は31日。2月は28日または29日(閏年)

【複数月】の場合 複数月の日数の合計を月数で割ったもの。
例) 12ヵ月の場合：365(閏年366)日÷12=30.42(≒30.5)
